

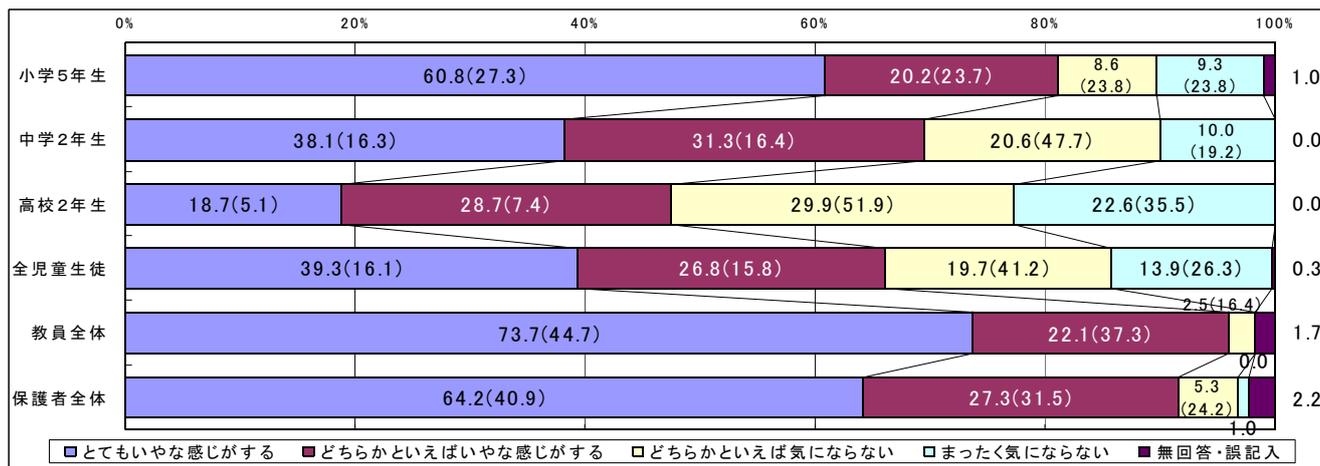
Ⅳ さまざまな行為に対する意識（規範意識）

1 友だちの行為に対する感じ方 【小学5年生…問18】【中学2年生…問18】 【高校2年生…問18】【教員…問11】【保護者…問18】

友だちが（児童・生徒や子どもさんの友だちが）次のようなことをしていたら、あなたはどう思いますか。それぞれあてはまるものを一つずつ選んで番号を教えてください。

- (1) とてもいやな感じがする (2) どちらかといえばいやな感じがする
(3) どちらかといえば気にならない (4) まったく気にならない

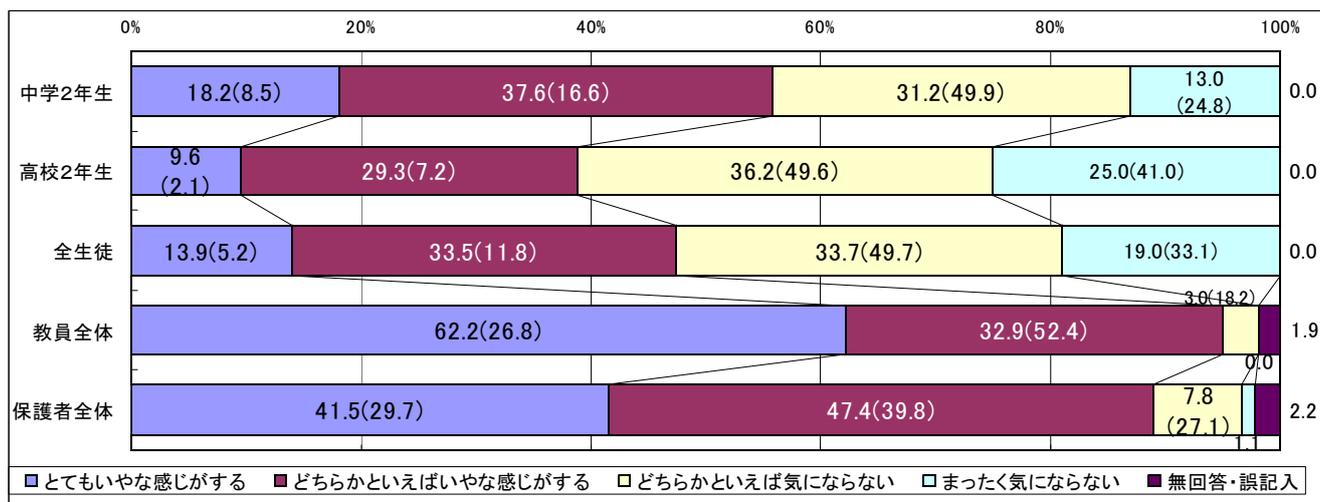
①髪を染めていたり、化粧をしたりしている



【備考】平成14年度との比較項目として「髪を染めている」を対象とした数値を（ ）に示した。

- 「とてもいやな感じがする」＋「どちらかといえばいやな感じがする」（以下「いやな感じがする」と記す）と回答した割合は、小5は81.0%、中2は69.4%、高2は47.4%で学年が上がるにつれて減少する。この傾向は平成14年度と変わらないが、割合はそれぞれ30～37ポイント増加している。平成14年度と比較すると、「いやな感じがする」と回答した教員と保護者の割合は、教員 13.8ポイント、保護者 19.1ポイントとそれぞれ増加している。

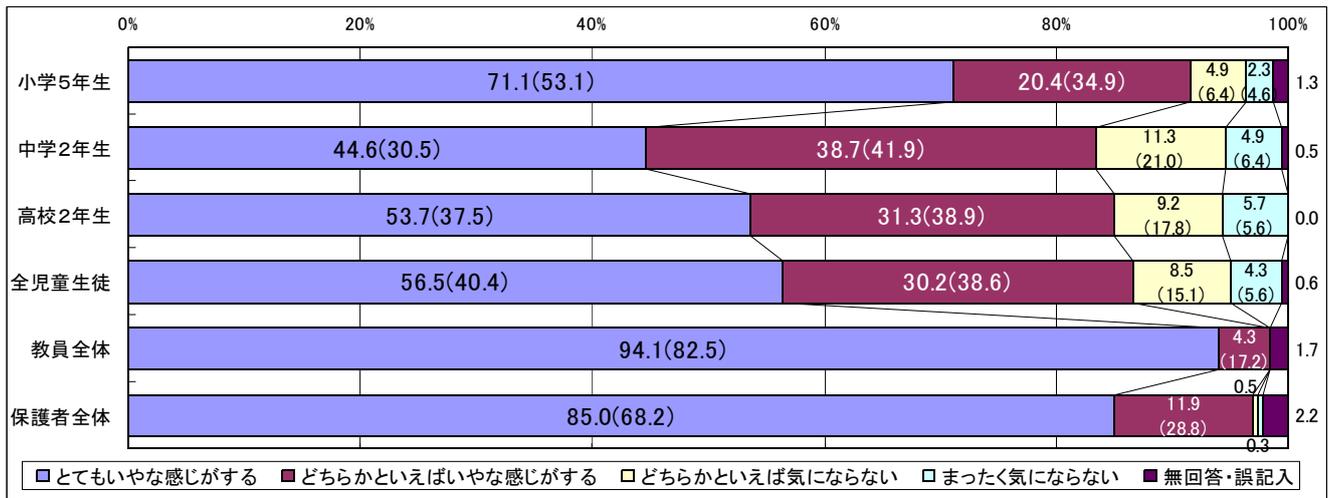
①制服を決められたとおりに着ていない（小学5年生は除く）



【備考】平成14年度との比較項目として「ズボンやスカートを決められたとおりにしていない」を対象とした数値を（ ）に示した。

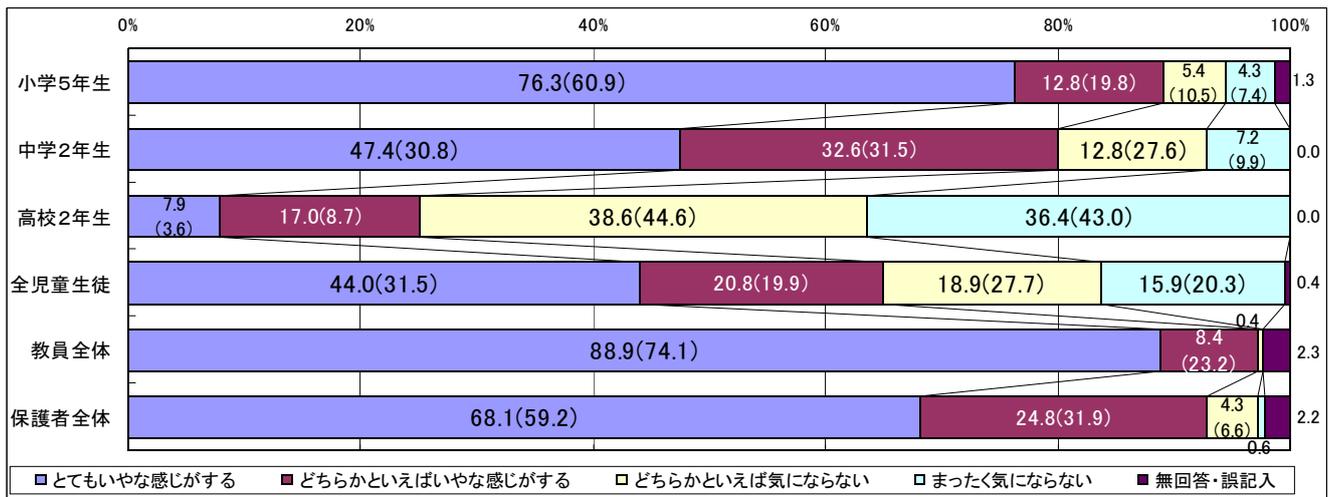
- 「いやな感じがする」と回答した割合は、中2は2人に1人以上（55.8%）、高2は3人に1人以上（38.9%）の割合である。平成14年度と比較すると、それぞれの割合は増加した。また、「いやな感じがする」と回答した教員と保護者の割合は教員 15.9ポイント、保護者 19.4ポイントの増加で、両者の意識の差が縮まっている。（6.2ポイント）

③校庭や廊下にごみをすてる



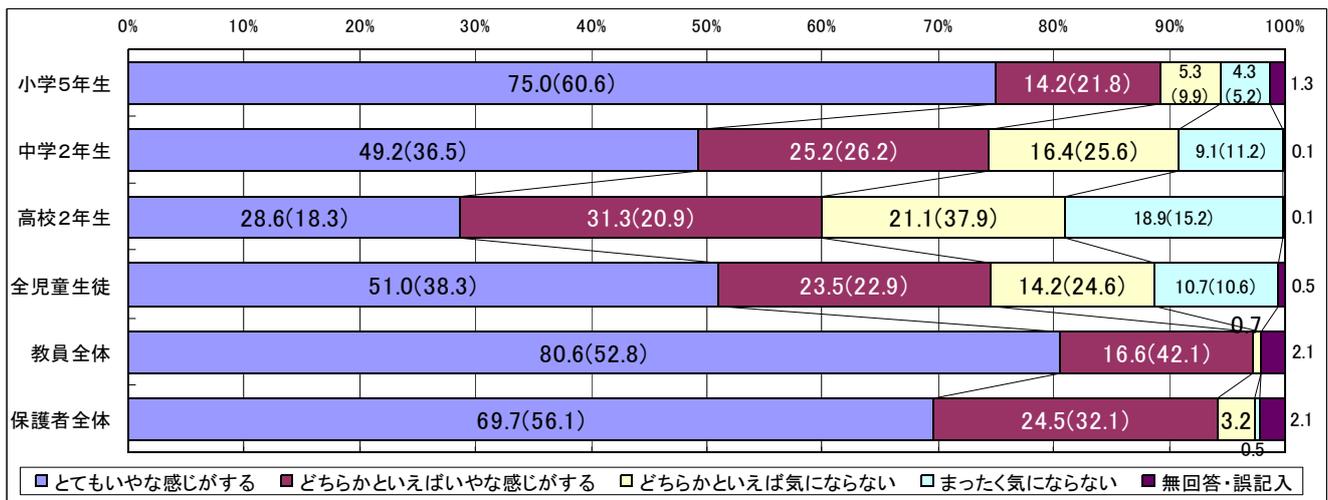
- 平成14年度と比較すると、「いやな感じがする」と回答した割合は、小5 3.5ポイント、中2 10.9ポイント、高2 8.6ポイントと増加し、教員（1.3ポイント）と保護者（0.1ポイント）はほぼ同じである。

④お菓子やガムを学校で食べる



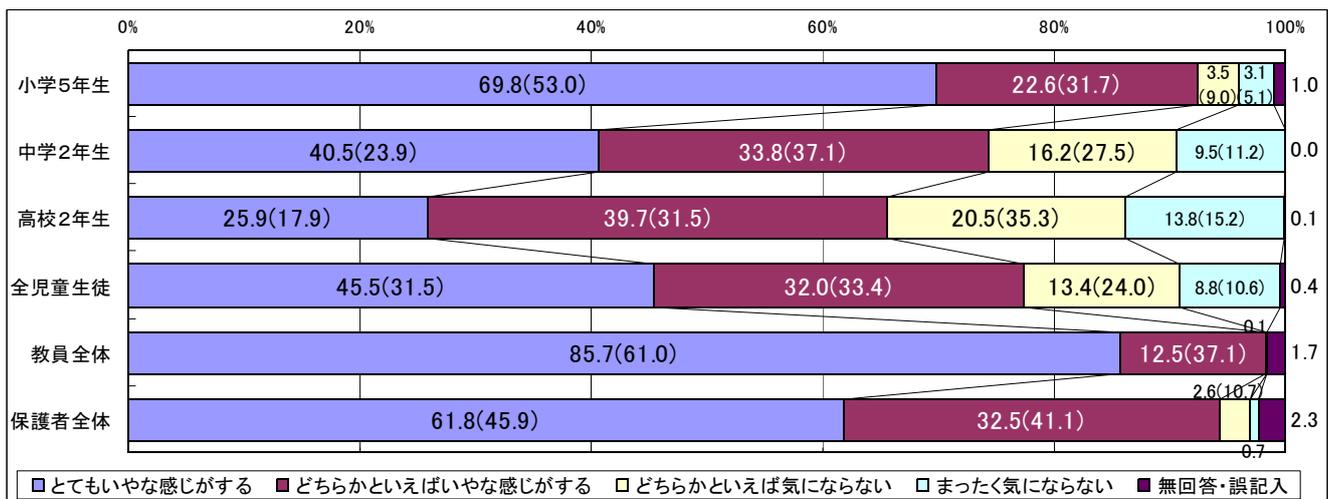
- 平成14年度と比較すると、「いやな感じがする」と回答した割合は、小5 8.4ポイント、中2 17.7ポイント、高2 12.6ポイントと増加した。

⑤学校や授業をさぼる



- 「どちらかといえば気にならない」 + 「まったく気にならない」と回答した割合は、中2で4人に1人以上（25.5%）、高2では3人に1人以上（40.0%）の割合である。平成14年度と比較すると、「いやな感じがする」と回答した割合は児童生徒・教員・保護者とも増加した。特に高2の増加が目立つ。（20.7ポイント）学年が上がるにつれて減少するのは平成14年度と同様の傾向である。

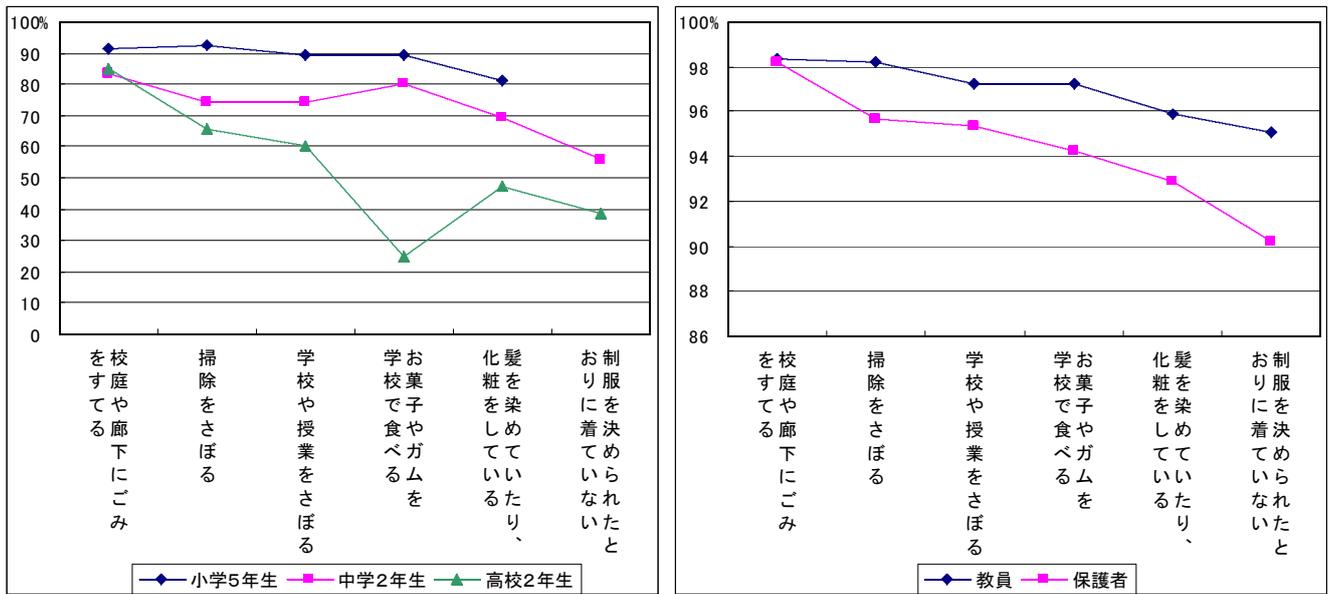
⑥掃除をさぼる



- 「どちらかといえば気にならない」 + 「まったく気にならない」と回答した割合は、中2で4人に1人以上（25.7%）、高2では3人に1人以上（34.3%）の割合である。平成14年度と比較すると、「いやな感じがする」と回答した割合は、児童生徒・教員・保護者とも増加した。特に高2の増加が目立つ。（16.2ポイント）学年が上がるにつれて「いやな感じがする」と回答した割合が減少するのは平成14年度と同様の傾向である。

◇全体的傾向

【「いやな感じがする」(とても+どちらかといえば)者の割合】



- 校種の違いでみると、すべての項目で小5の意識が高い。特に「お菓子やガムを学校で食べる」の項目で差が大きい。学年が上がるにつれて、規範意識が低くなる傾向があるのは、平成14年度と同じである。教員と保護者の意識の差が一番大きいのは「制服を決められておりに着ていない」(中高のみ)の項目である。

いやな感じがする(とても+どちらかといえば)者の割合が高い項目の比較

	平成14年度			平成19年度		
	1	2	3	1	2	3
児童生徒	校庭や廊下にごみを捨てる (79.0%)	掃除をさぼる (64.9%)	学校をさぼる (61.2%)	校庭や廊下にごみを捨てる (86.7%)	掃除をさぼる (77.5%)	学校や授業をさぼる (74.5%)
教員	校庭や廊下にごみを捨てる (99.7%)	掃除をさぼる (98.1%)	お菓子やガムを学校で食べる (97.3%)	校庭や廊下にごみを捨てる (98.4%)	掃除をさぼる (98.2%)	お菓子やガムを学校で食べる (97.3%)
保護者	校庭や廊下にごみを捨てる (97.0%)	お菓子やガムを学校で食べる (91.1%)	学校をさぼる (88.2%)	校庭や廊下にごみを捨てる (96.9%)	掃除をさぼる (94.3%)	学校や授業をさぼる (94.2%)

- 割合の高い3項目を平成14年度と比較すると、児童生徒の回答した割合が高くなっている。項目については、児童生徒・教員・保護者ともほぼ同じである。

気にならない(まったく+どちらかといえば)者の割合が高い項目の比較

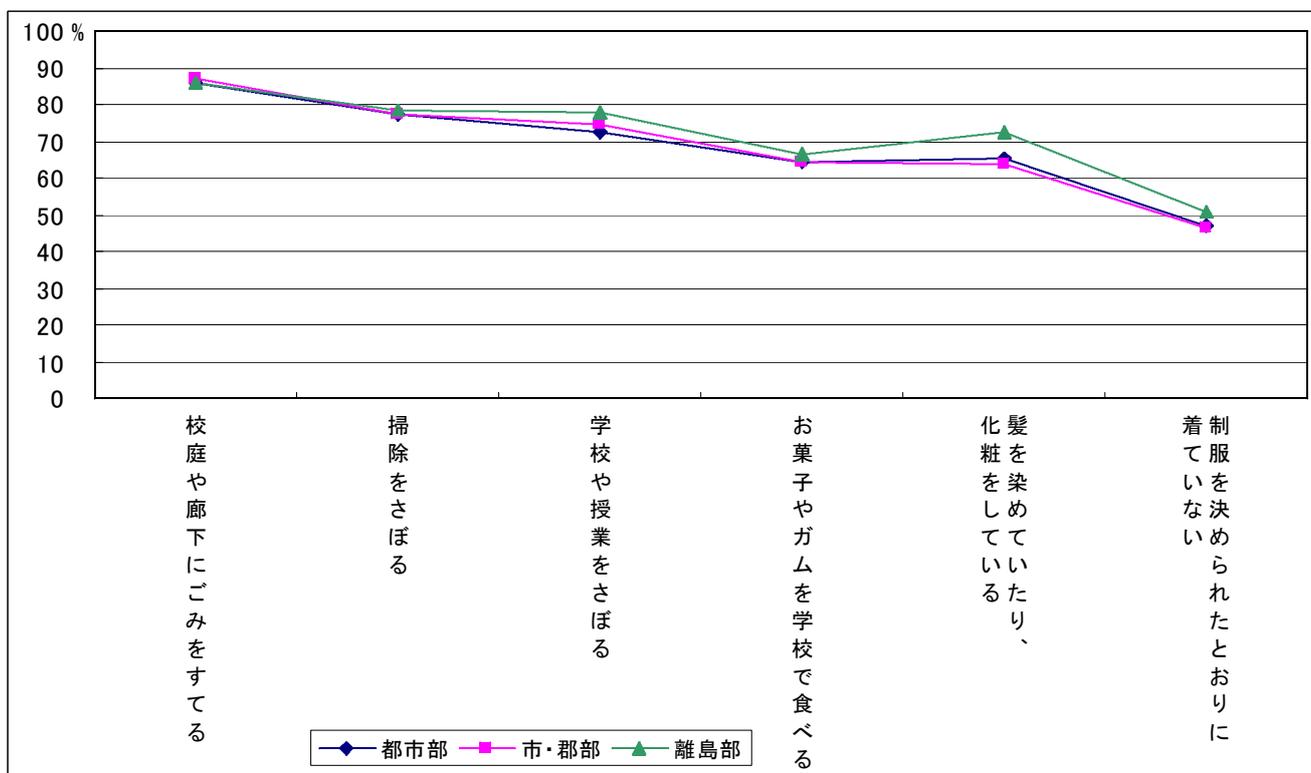
	平成14年度			平成19年度		
	1	2	3	1	2	3
児童生徒	ズボンやスカートを決められたとおりにしていない (82.8%)	髪を染めている (67.5%)	ピアスをしている (64.7%)	制服を決められておりに着ていない (52.7%)	お菓子やガムを学校で食べる (34.8%)	髪を染めたり化粧をしている (33.6%)
教員	ズボンやスカートを決められたとおりにしていない (20.0%)	髪を染めている (17.8%)	ピアスをしている (8.9%)	制服を決められておりに着ていない (3.0%)	髪を染めたり化粧をしている (2.5%)	学校や授業をさぼる (0.7%)
保護者	ズボンやスカートを決められたとおりにしていない (29.0%)	髪を染めている (26.4%)	ピアスをしている (17.6%)	制服を決められておりに着ていない (8.9%)	髪を染めたり化粧をしている (6.3%)	お菓子やガムを学校で食べる (4.9%)

- 割合の高い3項目を平成14年度と比較すると、児童生徒、教員、保護者ともすべての項目で割合が減少した。頭髮、服装に関する項目について、児童生徒と教員・保護者の意識の差が大きいのは平成14年度と同様の傾向である。

◇「友だちの行為に対する感じ方」に関する子どもの意識

①地区別

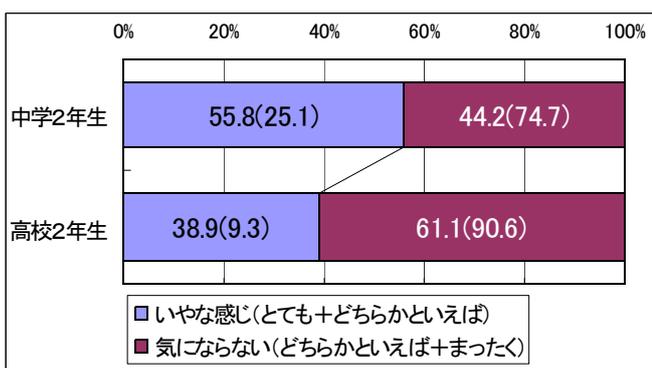
【「いやな感じがする」(とても+どちらかといえば)者の割合】



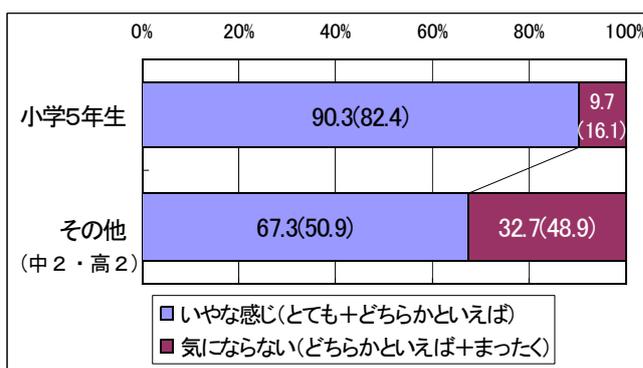
●平成14年度と同じく、地区別に差異は見られない。

②平成14年度に顕著な傾向を示した項目における平成19年度の結果

【制服を決められたとおりに着ていない】



【学校や授業をさぼる】



○中学2年生 782人 高校2年生 769人

○小学5年生 766人 その他 1549人

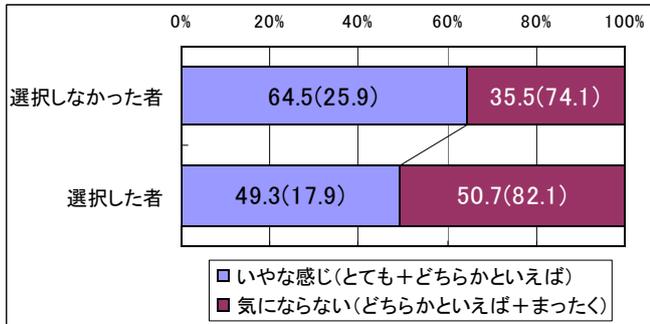
※平成14年度に顕著な傾向を示した「ピアスをしている」については、平成19年度は質問項目を除外したため、今回は「制服を決められたとおりに着ていない」(平成19年度)と「ズボンやスカートを決められたとおりにしていない」(平成14年度)とを比較している。

●「制服を決められたとおりに着ていない」「学校や授業をさぼる」のそれぞれについて、「いやな感じ」と回答した割合は、全校種ともに増加している。「学校や授業をさぼる」については、小5とその他(中2・高2)との意識の差が縮まっている。

◇「きまりがきびしい」〔Ⅱ学校生活 3 学校生活不満の理由 (P.41)〕と頭髪・服装との関係 (中学2年生+高校2年生)【クロス集計】

「学校生活不満の理由」の「きまりがきびしい」を選択した群と選択しなかった群の二つに分け、頭髪・服装については、「いやな感じがする」(とても+どちらかといえば)群と、「気にならない」(あまり+まったく)群の二つに分けて分析した。

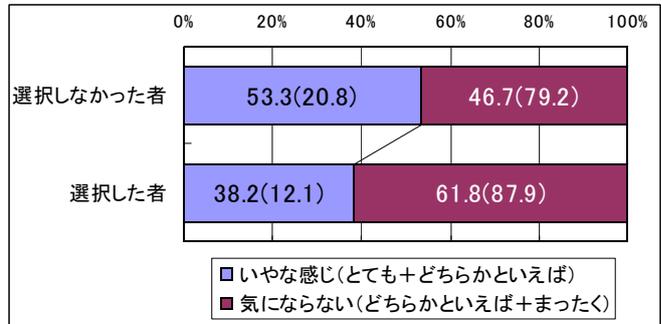
【髪を染めたり化粧をしたりしている】



○選択しなかった者 943人 選択した者 608人

※ () 内の数値は、平成14年度調査で「髪を染めている」項目で回答した割合

【制服を決められたとおりに着ていない】



○選択しなかった者 943人 選択した者 609人

※ () 内の数値は、平成14年度調査で「ズボンやスカートを決められたとおりにしていない」項目で回答した割合

- 頭髪・服装に関して、「学校のきまりが厳しい」を選択しなかった者が、選択した者よりも、「いやな感じ(とても+どちらかといえば)」と回答した割合が高い。これは、平成14年度と同様である。

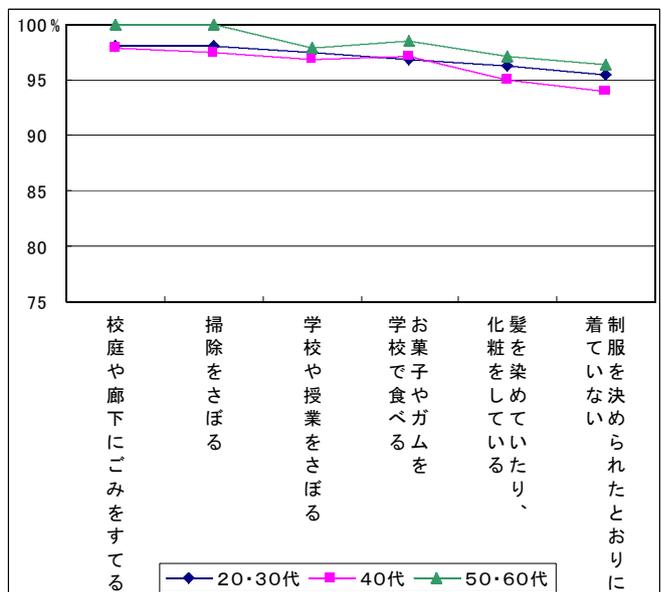
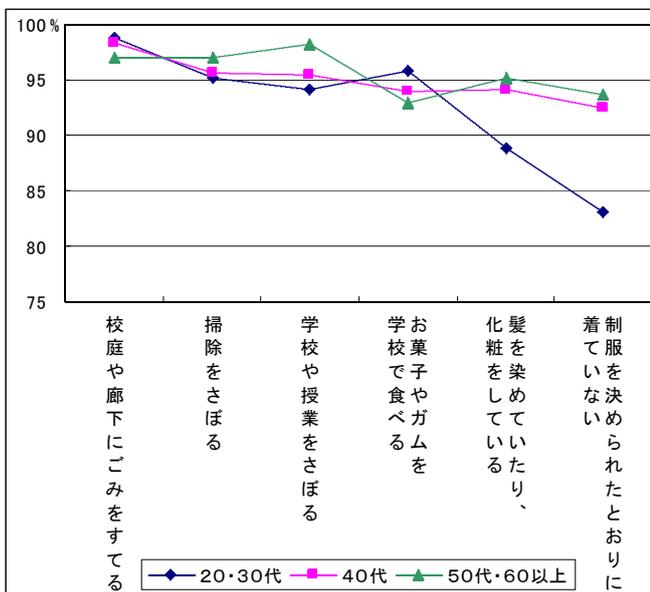
◇「友だちの行為に対する感じ方」に関する大人の意識

①年代別

【「いやな感じがする」(とても+どちらかといえば)者の割合】

【保護者】

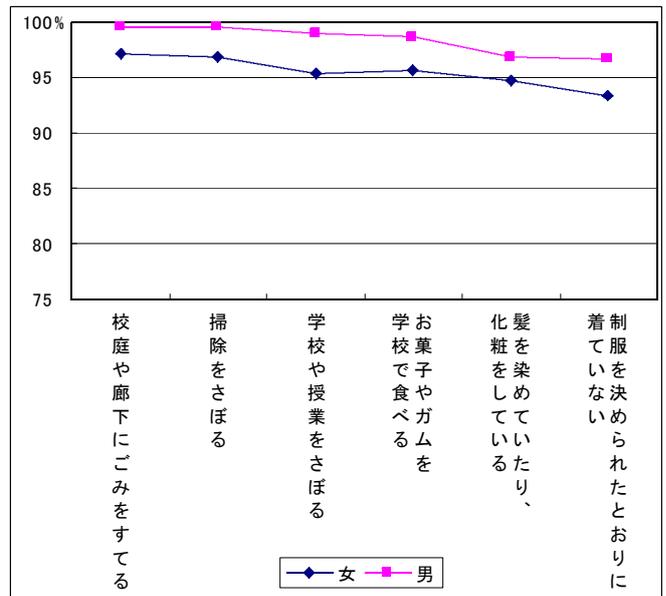
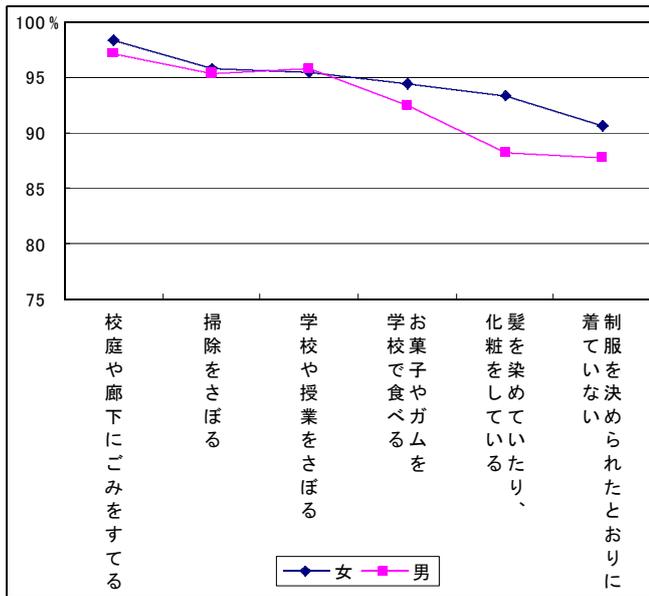
【教員】



- 服装・頭髪に関する項目では、保護者は30代までと40代以上の差が大きい。これは平成14年度と同様の傾向である。教員については、平成14年度では学年が上がるにつれて「いやな感じがする(とても+どちらかといえば)」と回答した割合が高くなる傾向が見られたが、平成19年度では年齢による差異はほとんど見られない。

②男女別

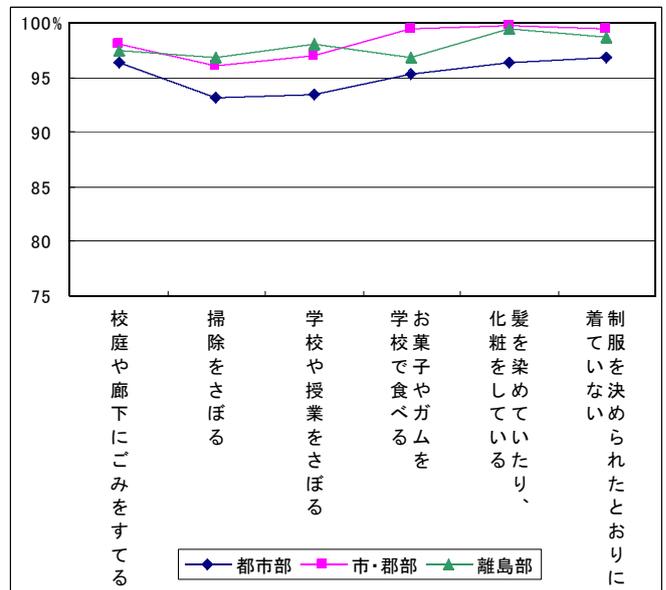
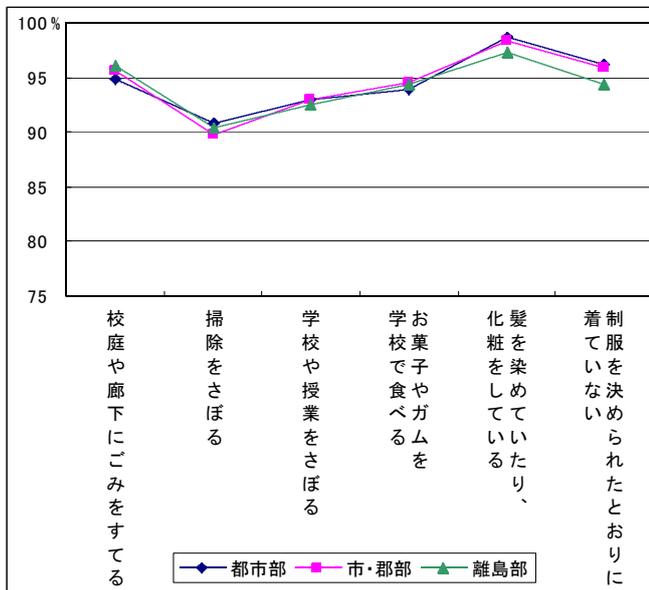
【「いやな感じがする」(とても+どちらかといえば)者の割合】
【保護者】 【教員】



● 保護者は、服装・頭髪に関する項目に関して、女性の方が男性よりも「いやな感じがする」と回答した割合が高い。教員は、すべての項目において男性の教員が女性の教員よりも「いやな感じがする(とても+どちらかといえば)」と回答した割合が高い。

③地区別

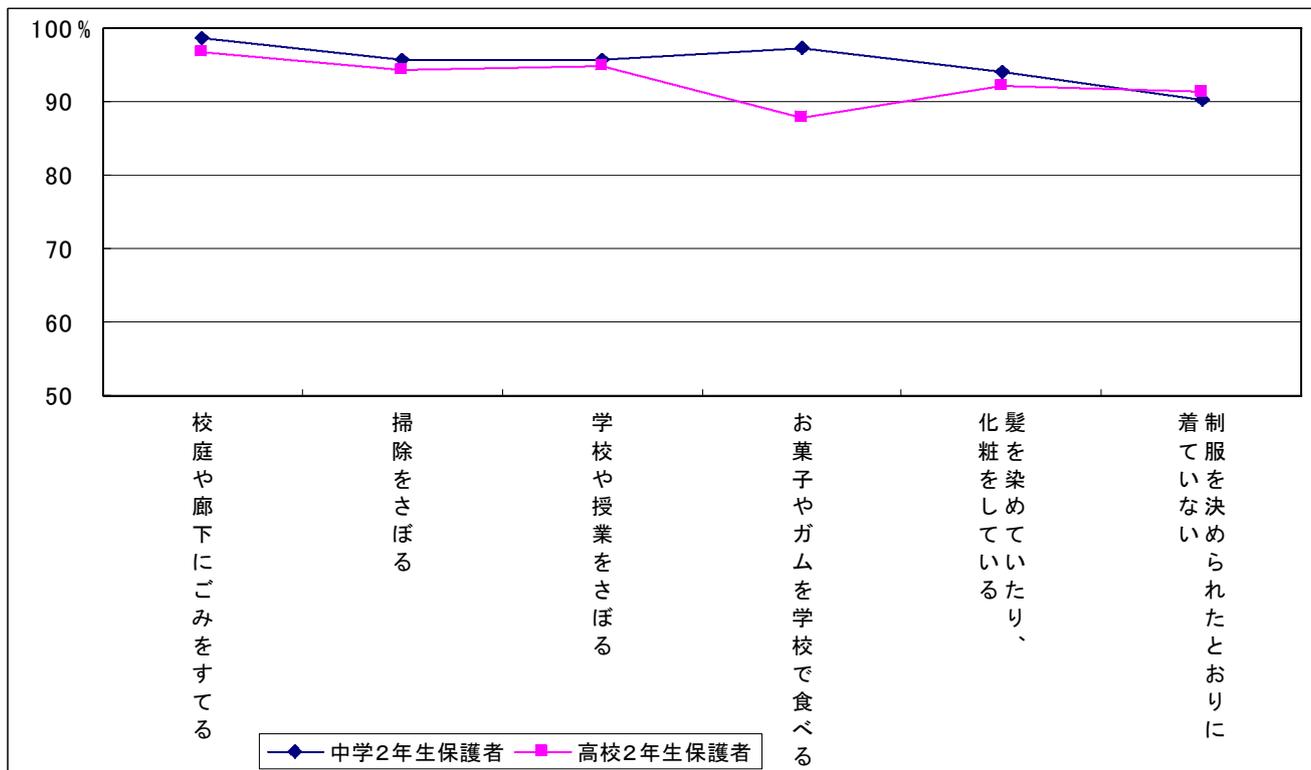
【「いやな感じがする」(とても+どちらかといえば)者の割合】
【保護者】 【教員】



● 服装・頭髪に関する項目については、保護者・教員とも平成14年度において差異が見られたが、平成19年度は大きな差異は見られない。

④校種別

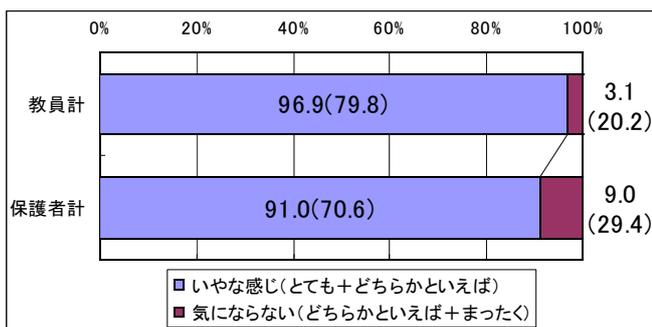
【「いやな感じがする」(とても+どちらかといえば)者の割合】
【保護者】



● 中2の保護者と高2の保護者の意識の差が大きいのは、「お菓子やガムを学校で食べる」である。これは平成14年度と同じである。

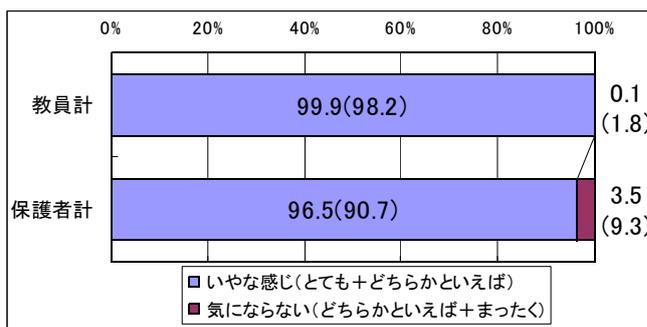
⑤教員・保護者間で平成14年度に顕著な傾向を示した項目における平成19年度の結果

【制服を決められたとおりに着ていない】



○教員 713人 保護者 2170人

【掃除をさぼる】



○教員 715人 保護者 2168人

● 「制服を決められたとおりに着ていない」「掃除をさぼる」のそれぞれについて、「いやな感じ(とても+どちらかといえば)」と回答した割合は、教員、保護者ともに増加し、その差が縮まっている。

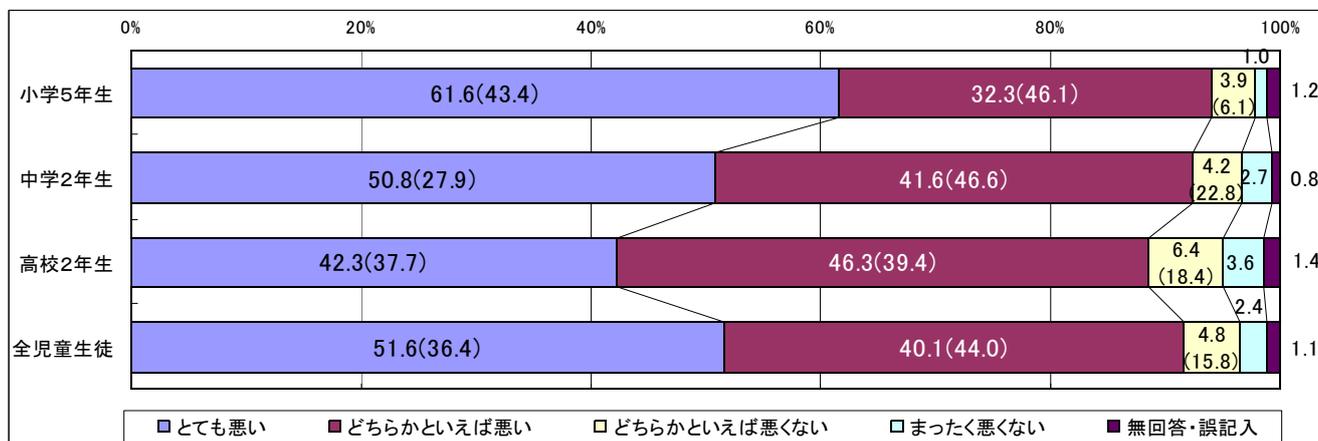
2 授業中の行為に対する感じ方 【小学5年生…問19】 【中学2年生…問19】【高校2年生…問19】

授業中に次のようなことをすることについて、あなたはどのように思いますか。それぞれあてはまるものを一つずつ選んで番号を教えてください。

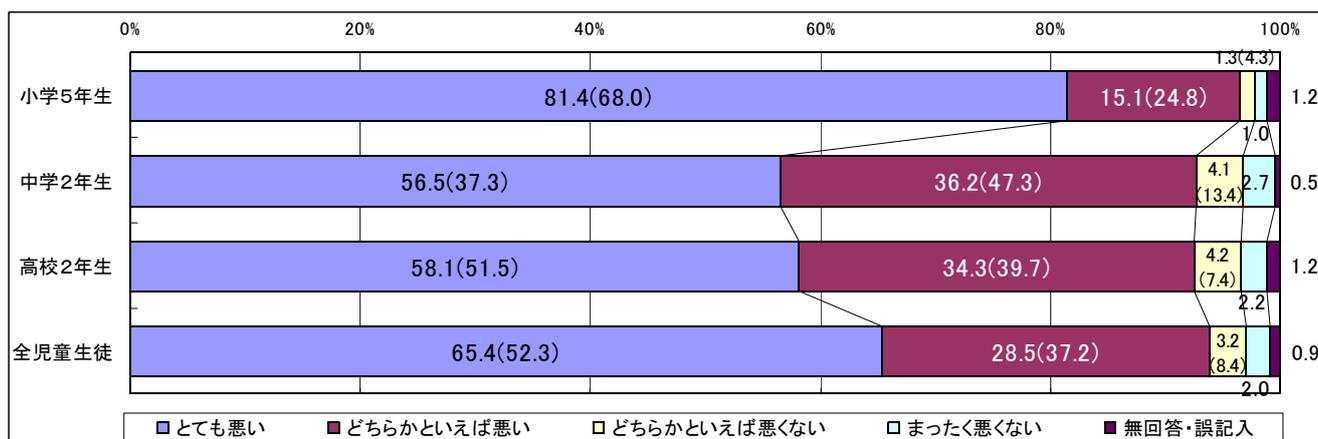
(1) とても悪い (2) どちらかといえば悪い (3) どちらかといえば悪くない (4) まったく悪くない

※以下の①～⑨の調査結果については、P. 64～P. 65に「全体的傾向」等の分析を記載した。

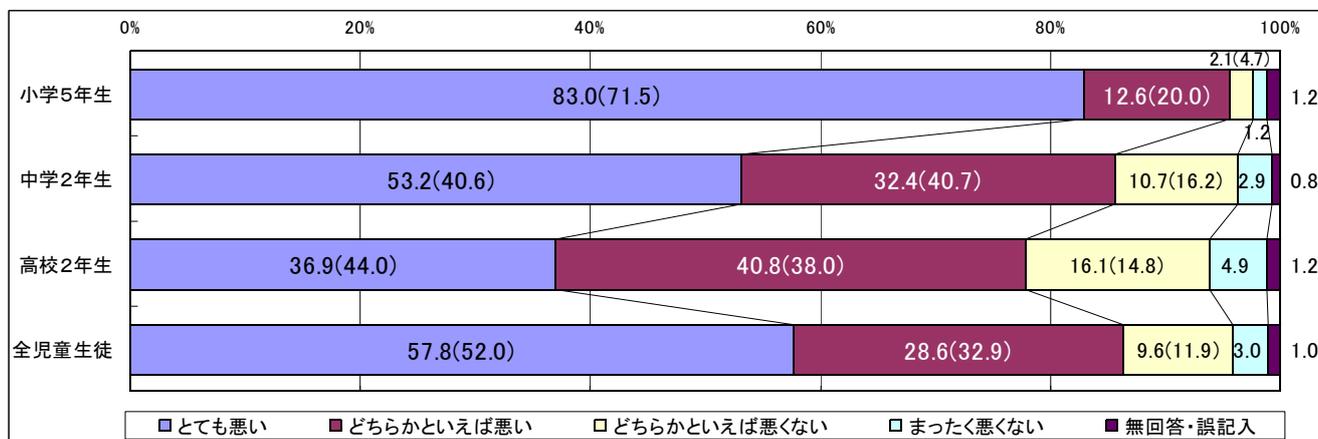
①教科書やノートを出さない



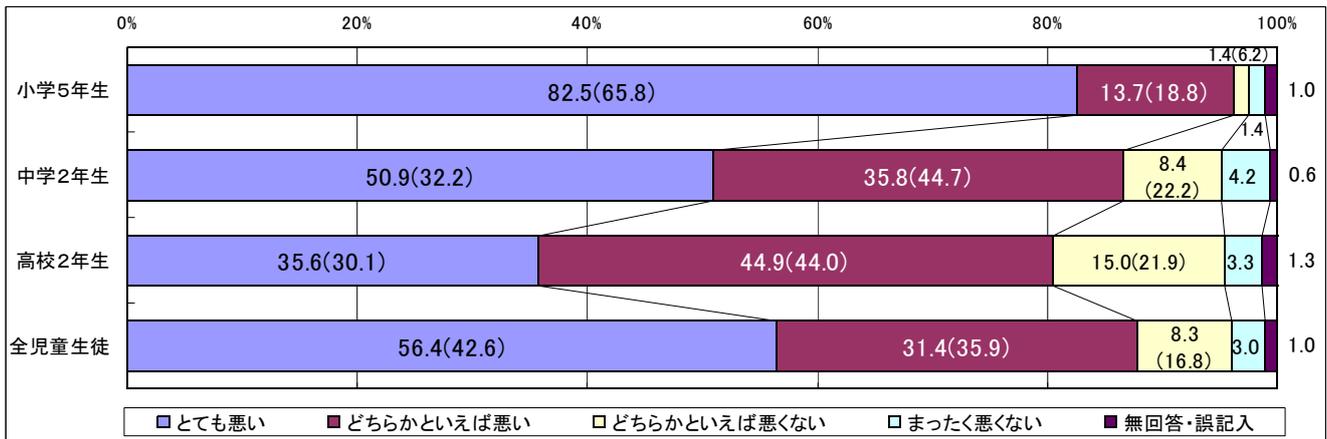
②注意されてもおしゃべりをやめない



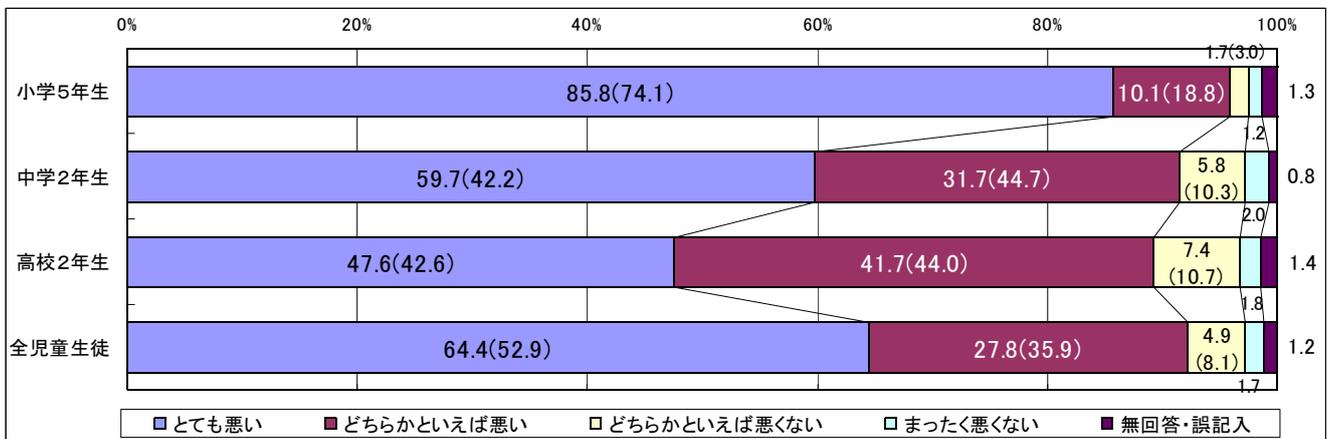
③友だちの発言を笑ったりなじったりする



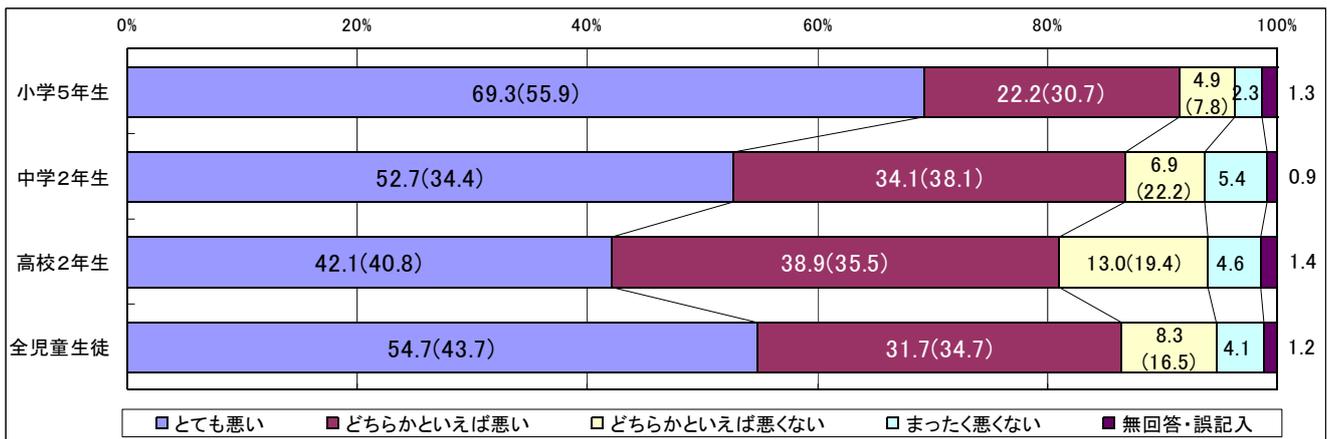
④先生の注意に反抗する



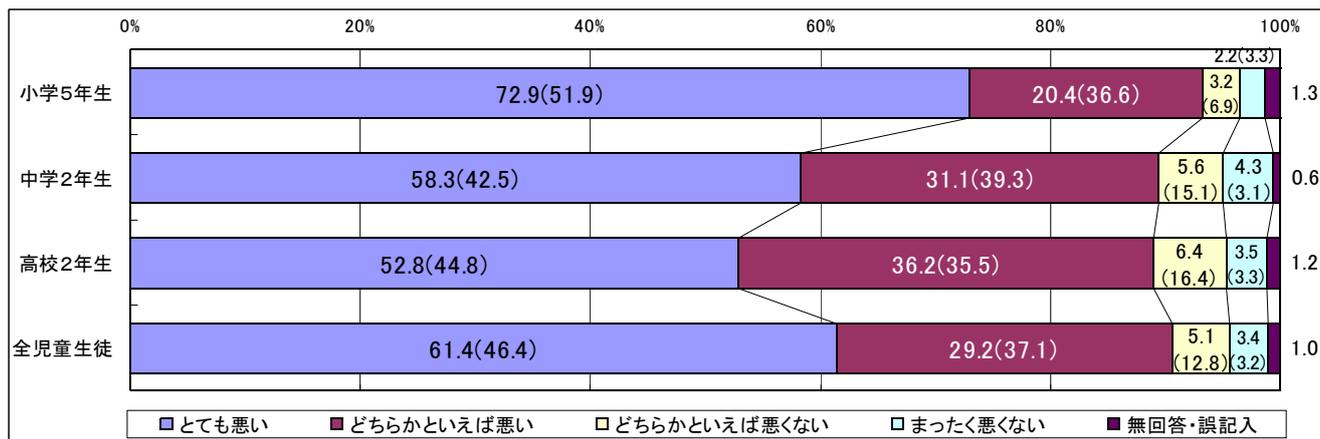
⑤先生の指示や質問を無視する



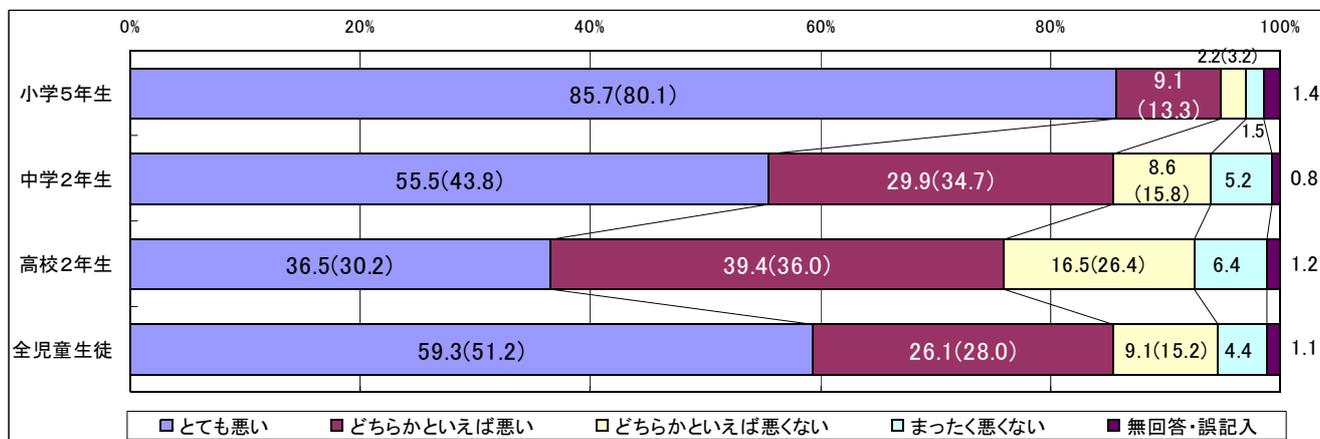
⑥教室を立ち歩く



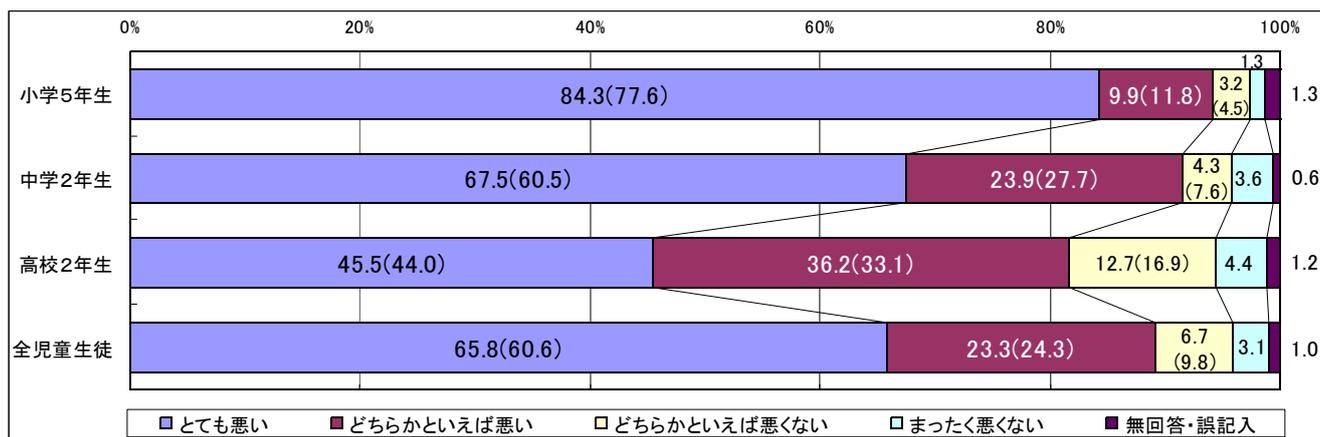
⑦無断でトイレに行く



⑧マンガや小説などを読む



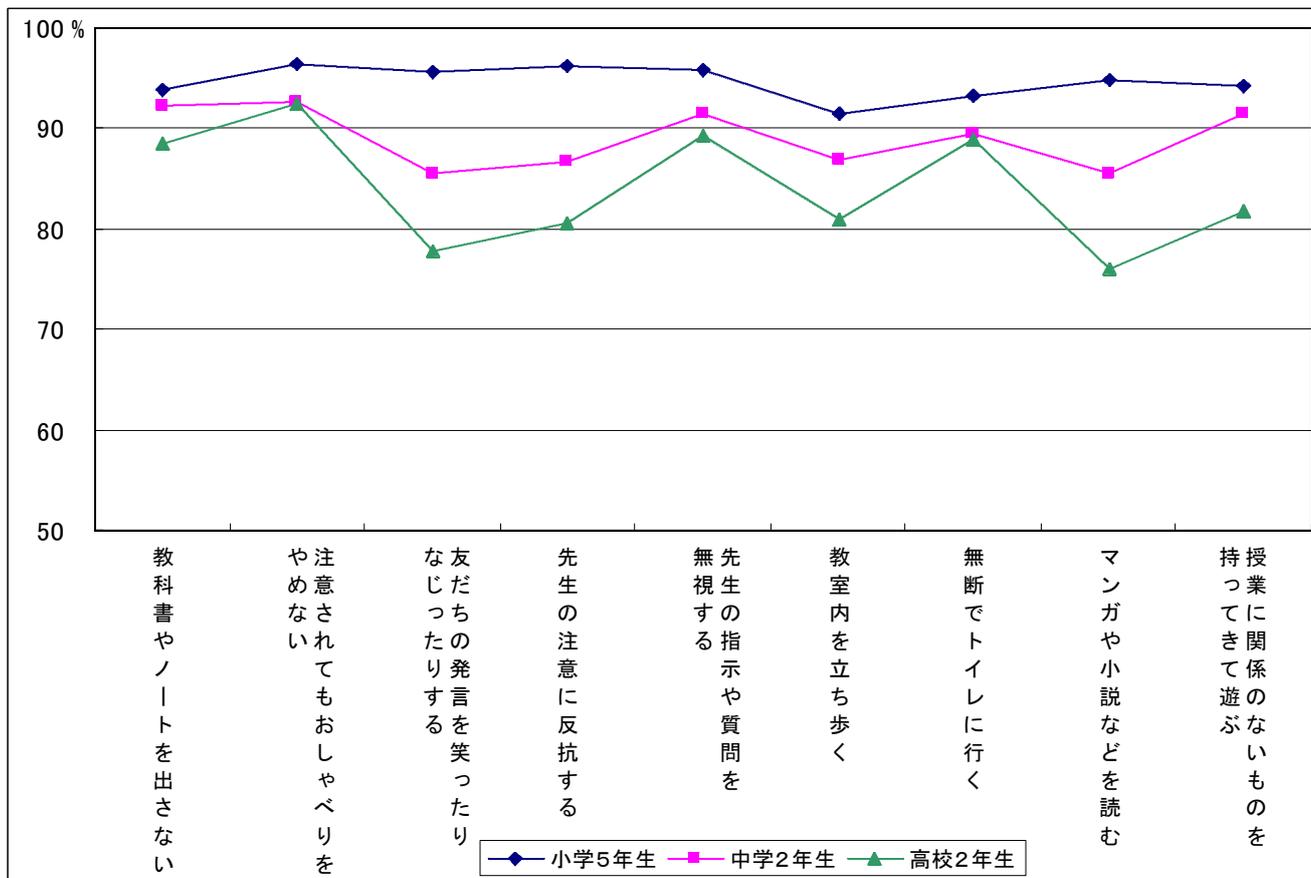
⑨授業に関係のないものを持ってきて遊ぶ



【備考】平成14年度との比較項目として「CDなどの音楽を聴く」を対象とした数値を（ ）に示した。

◇全体的傾向

【「悪い」（とても+どちらかといえば）と思う者の割合】



- 全校種では、「悪い」が9項目中7項目で80%以上の高い割合を示した。ただし、小5では全項目が90%以上であるが、中2になると90%以上は4項目（「教科書やノートを出さない」「注意されてもおしゃべりをやめない」「先生の指示や質問を無視する」「授業に関係のないものを持ってきて遊ぶ」）、高2では、1項目（「注意されてもおしゃべりをやめない」）である。
- 平成14年度と比較すると、中2が「とても悪い」と回答した割合は、「先生の注意に反抗する」で18.7ポイント、「先生の指示や質問項目を無視する」で17.5ポイントとそれぞれ増加している。

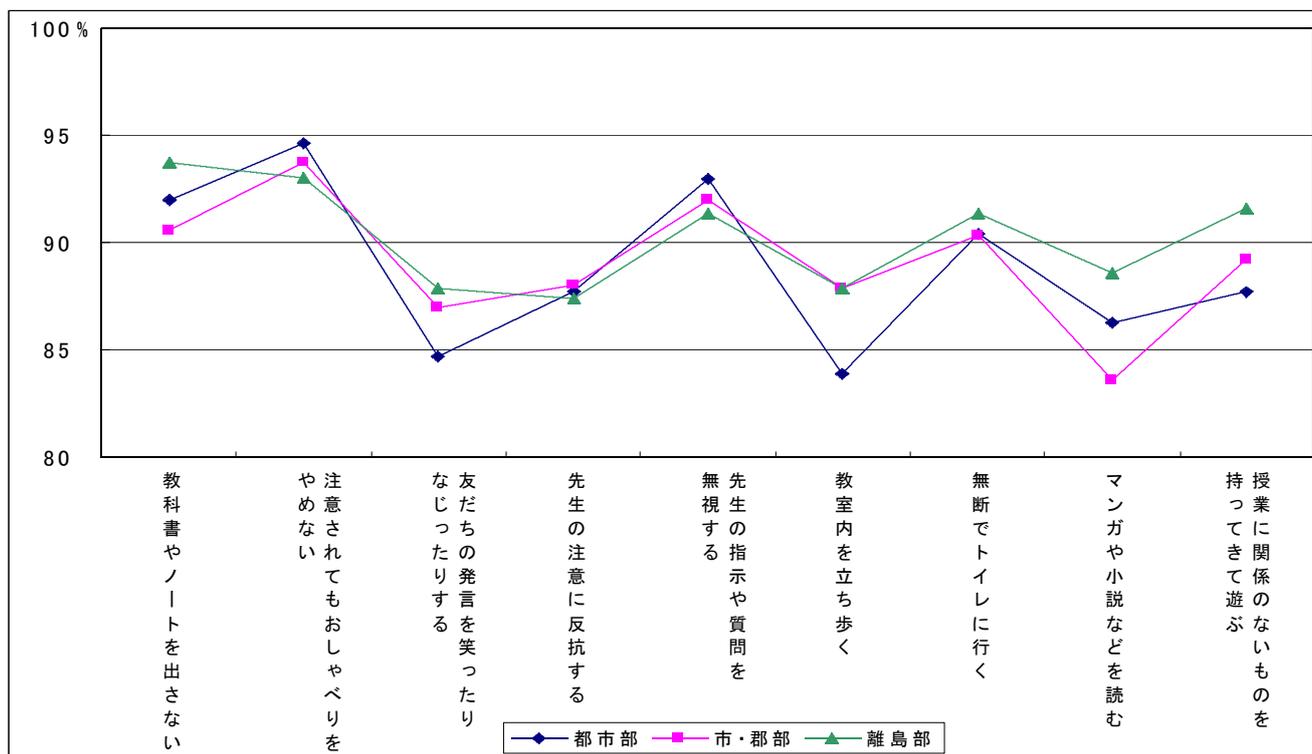
悪い（とても+どちらかといえば）の割合が高い項目の比較

	平成14年度		平成19年度	
	1	2	1	2
小学5年生	マンガや小説などを読む (93.4%)	先生の指示や質問を無視する (92.9%)	注意されてもおしゃべりをやめない (96.5%)	先生の注意に反抗する (96.2%)
中学2年生	CDなどの音楽を聞く (88.2%)	先生の指示や質問を無視する (86.9%)	注意されてもおしゃべりをやめない (92.7%)	教科書やノートを出さない (92.4%)
高校2年生	注意されてもおしゃべりをやめない (91.2%)	先生の指示や質問を無視する (86.9%)	注意されてもおしゃべりをやめない (92.4%)	先生の指示や質問を無視する (89.3%)
全児童生徒	注意されてもおしゃべりをやめない (89.5%)	先生の指示や質問を無視する (88.8%)	注意されてもおしゃべりをやめない (93.9%)	先生の指示や質問を無視する (92.2%)

- 平成14年度と比較すると、全校種で「注意されてもおしゃべりをやめない」行動を「悪い」と回答した割合が高くなっている。また、授業中の態度や教員の指導に従わない行為について「悪い」と回答した割合が高い。

◇地区別傾向（全児童生徒）

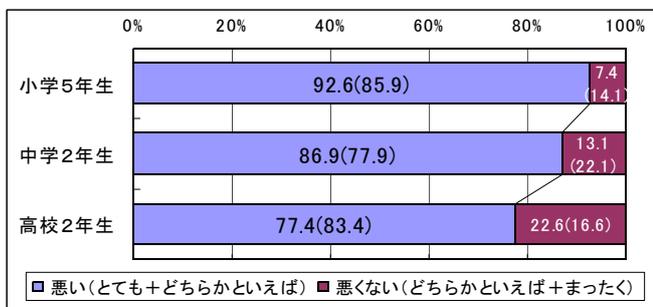
【「悪い」（とても+どちらかといえば）と思う者の割合】



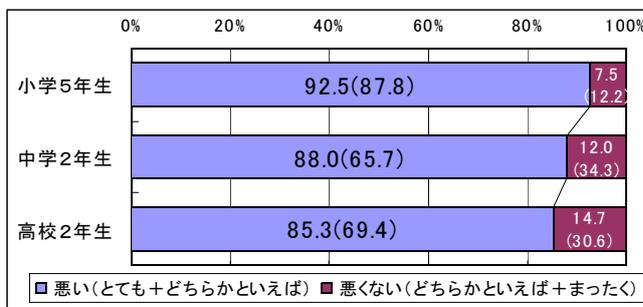
● 都市部では「教室内を立ち歩く」「友だちの発言を笑ったりなじったりする」の項目において市・郡部、離島部よりも割合が低くなっている。「マンガや小説などを読む」項目については地区によって回答した割合に差異がある。

◇「教室内を立ち歩く」の校種と地区の関係

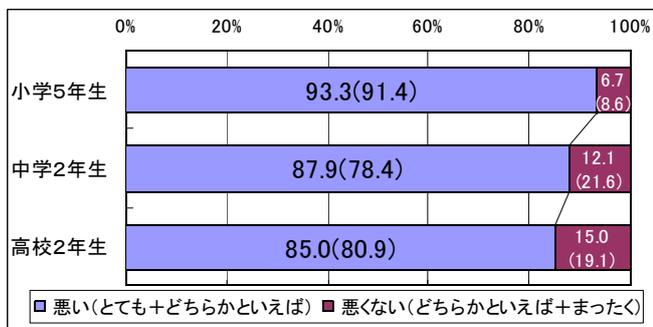
【都市部】



【市・郡部】



【離島部】

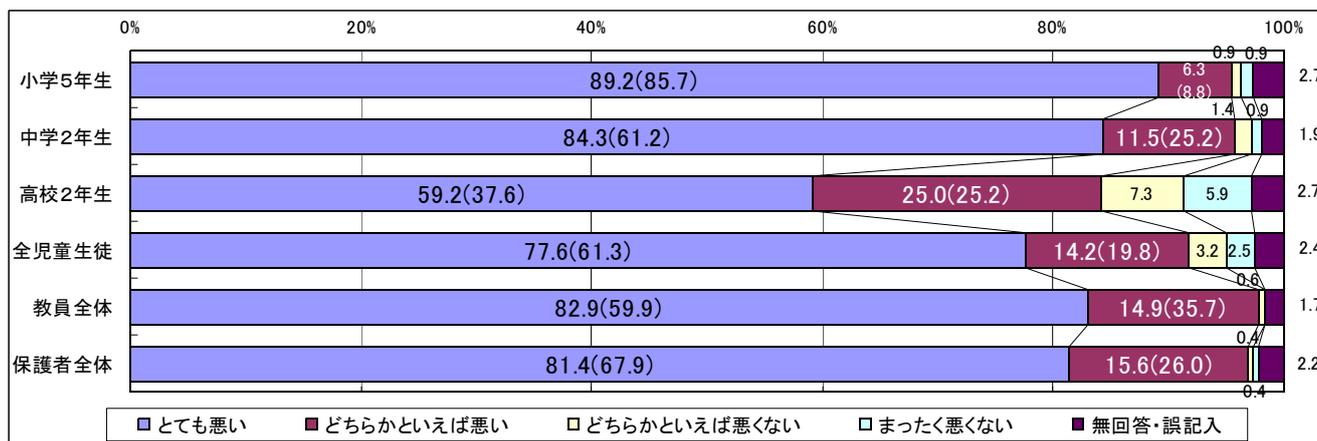


● 平成14年度と比較すると、市・郡部における中2と高2で「悪い」と回答した割合の増加が顕著である。（中2 22.3ポイント、高2 15.9ポイント）。

3 (1) 友だちの行為に対する善悪の判断 【小学5年生…問31】【中学2年生…問33】
【高校2年生…問34】【教員…問19】【保護者…問27】

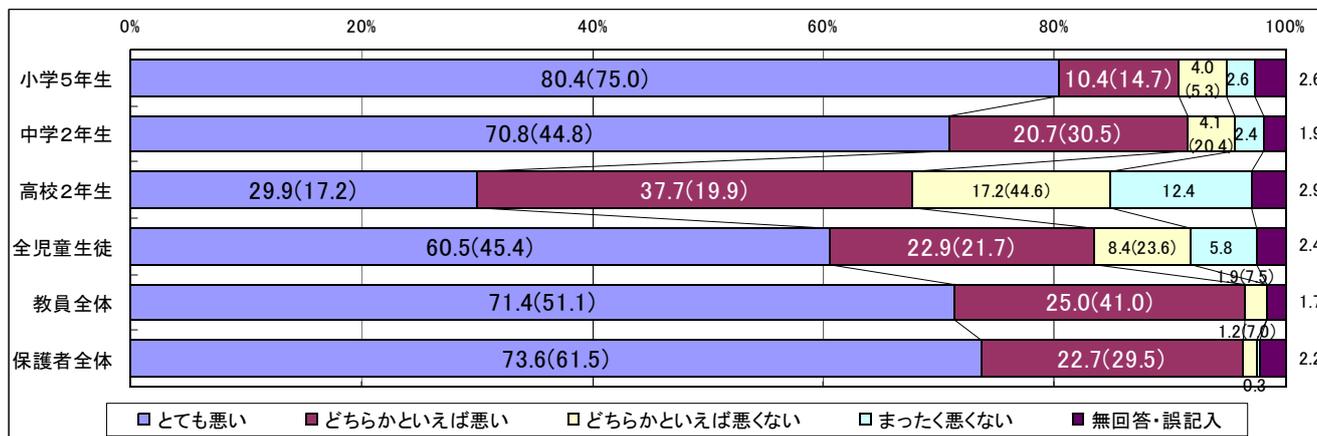
あなたの友だちが（児童・生徒や子どもさんの友だちが）次のようなことをしていたら、あなたはどのくらい悪いことだと思いますか。それぞれ一つ選んで番号を教えてください。
(1) とても悪い (2) どちらかといえば悪い (3) どちらかといえば悪くない (4) まったく悪くない

①自分の部屋でたばこをすう



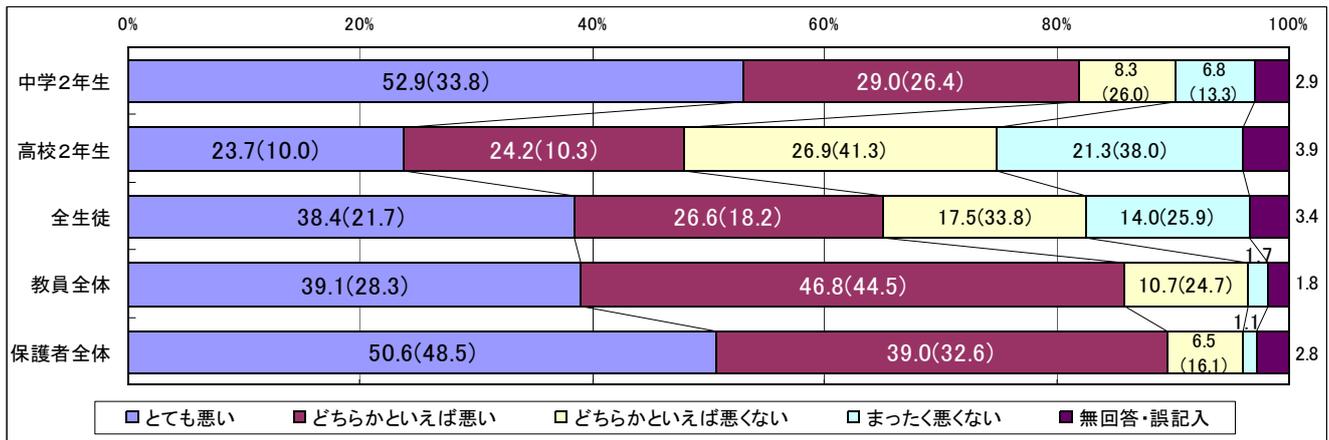
- 「とても悪い」 + 「どちらかといえば悪い」（以下、「悪い」と記す）と回答した割合は、小5 95.5%、中2 95.8%、高2 84.2%である。平成14年度と比較すると、全校種で「悪い」と回答した割合が増加している。（小5 1.0ポイント、中2 9.4ポイント、高2 21.4ポイント）また、中2と高2では、23.6ポイントの差があったが、平成19年度はその差が11.6ポイントに縮まっている。

②自分の家で酒を飲む



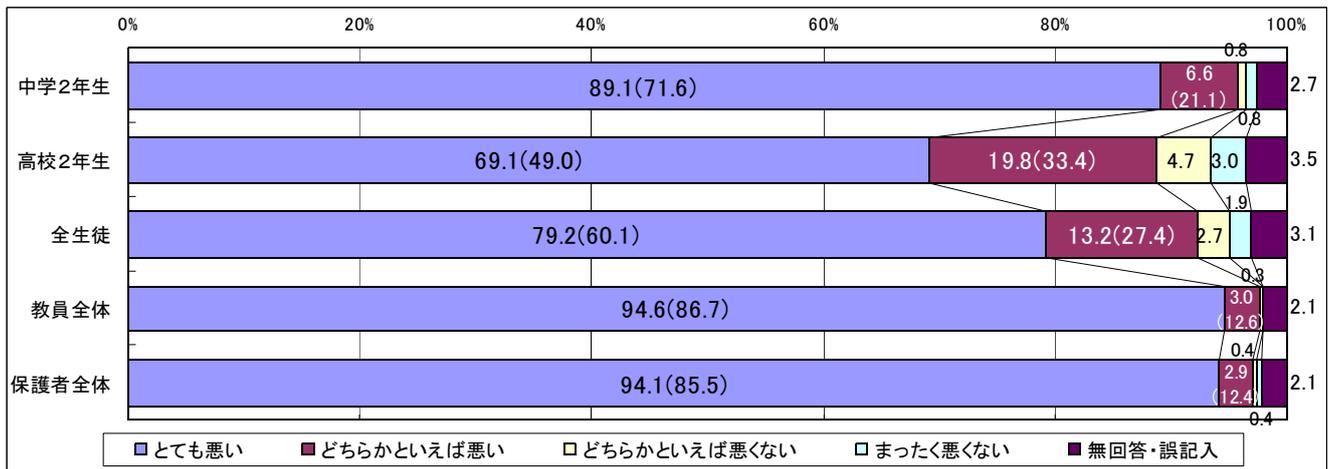
- 「悪い」と回答した割合は、小5 90.8%、中2 91.5%、高2 67.6%である。平成14年度と比較すると、全校種の児童生徒、教員、保護者で「悪い」と回答した割合が増加している。（小5 1.1ポイント、中2 16.2ポイント、高2 30.5ポイント、教員 4.3ポイント、保護者 5.3ポイント）
- 「自分の家で酒を飲む」ことを「悪い」と回答した児童生徒は、「自分の部屋でたばこをすう」ことを「悪い」と回答した児童生徒の割合よりも低い。これは平成14年度と同様の傾向である。

③アダルトビデオ（DVD等）を見る（小学5年生は除く）



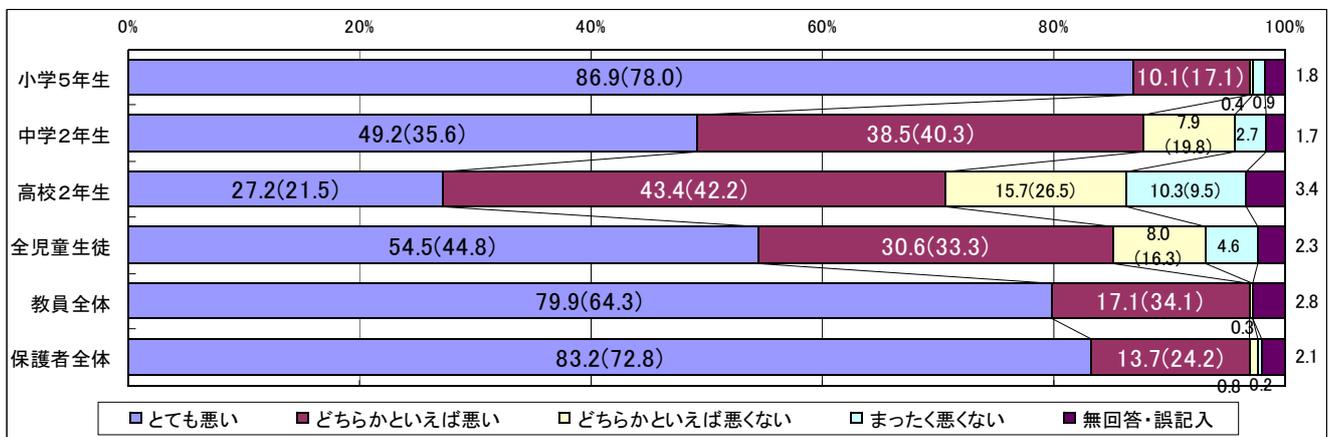
●「悪い」と回答した割合は、中2 81.9%、高2 47.9%である。平成14年度と比較すると、中2・高2の生徒、教員、保護者で「悪い」と回答した割合が増加している。（中2 21.7ポイント、高2 27.6ポイント、教員 13.1ポイント、保護者 8.5ポイント）

④車やバイクの無免許運転をする（小学5年生は除く）



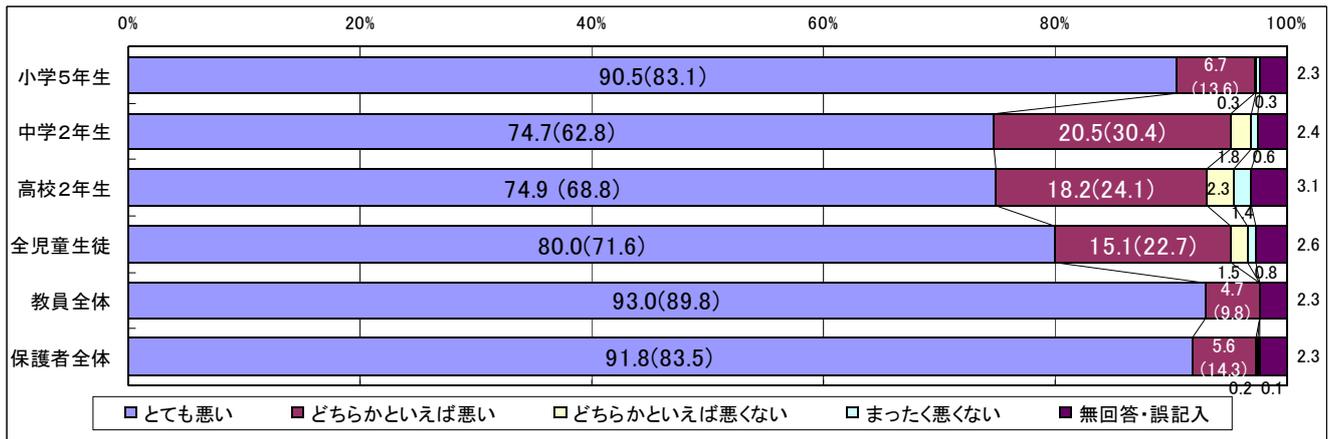
●「悪い」と回答した割合は、中2 95.7%、高2 88.9%である。平成14年度と比較すると、中2・高2の生徒で増加している。（中2 3.0ポイント、高2 6.5ポイント）

⑤保護者に無断で外泊する



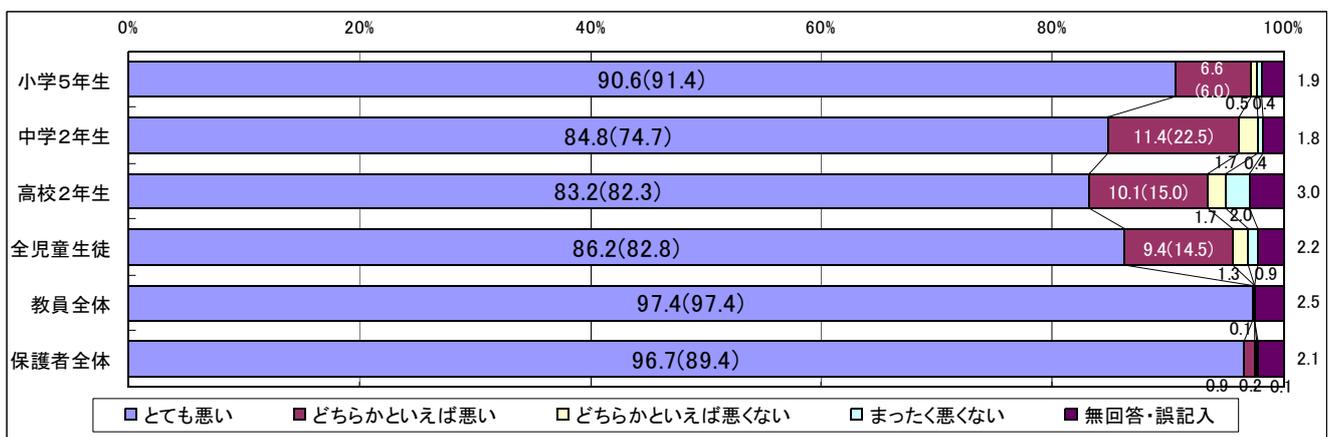
●「悪い」と回答した割合は、小5 97.0%、中2 87.7%、高2 70.6%である。平成14年度と比較すると、全校種で増加している。（小5 1.9ポイント、中2 11.8ポイント、高2 6.9ポイント）

⑥人に暴力をふるう



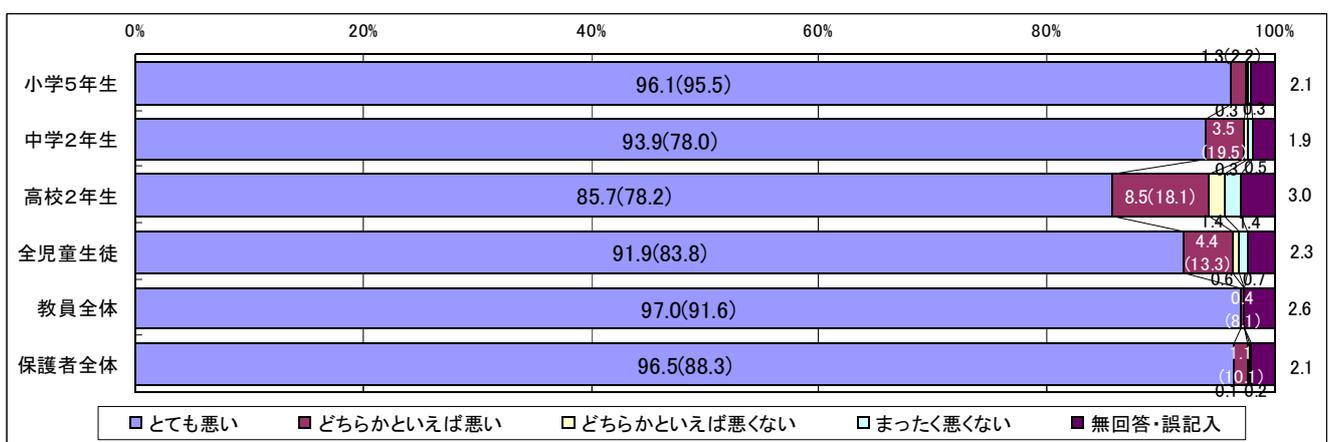
●「悪い」と回答した割合は、小5 97.2%、中2 95.2%、高2 93.1%である。平成14年度と比較すると、それぞれほぼ同じである。

⑦友だちにお金や物品を強要する



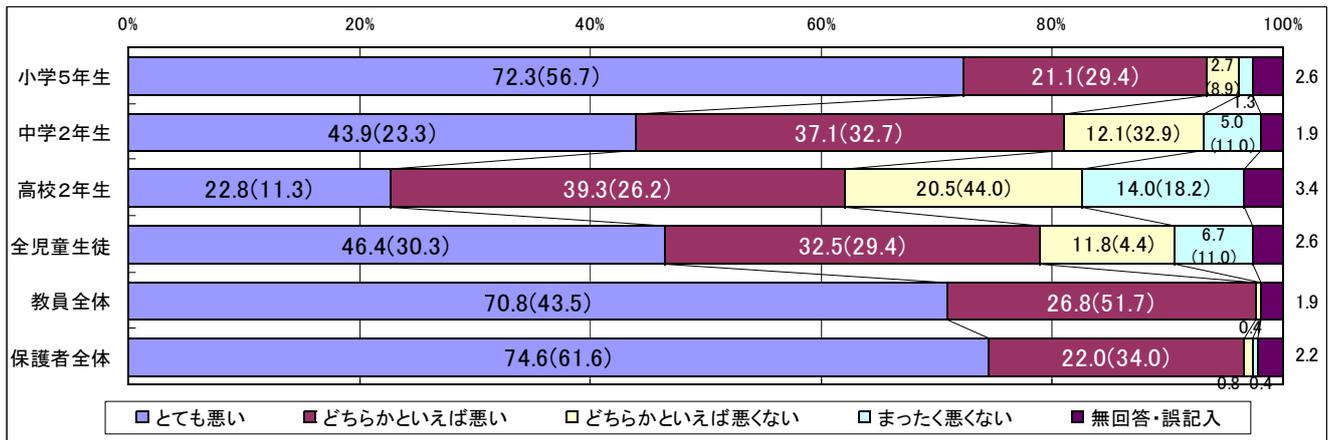
●「悪い」と回答した割合は、小5 97.2%、中2 96.2%、高2 93.3%である。平成14年度と比較すると、高2は4ポイント減少している。

⑧万引きをする



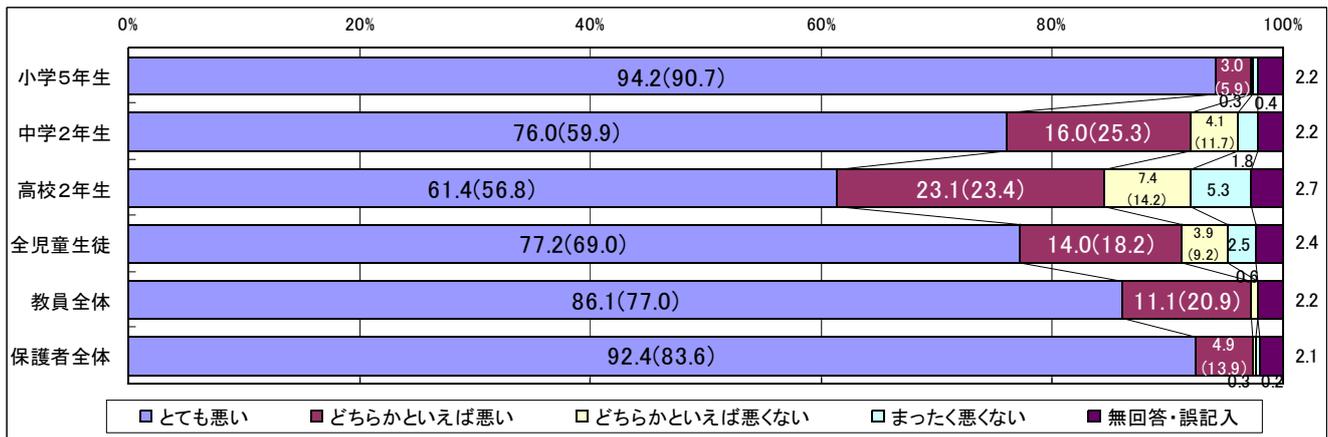
●「悪い」と回答した割合は、小5 97.4%、中2 97.4%、高2 94.2%である。平成14年度と比較すると、高2は2.1ポイント減少している。

⑨夜遅く外を出歩く



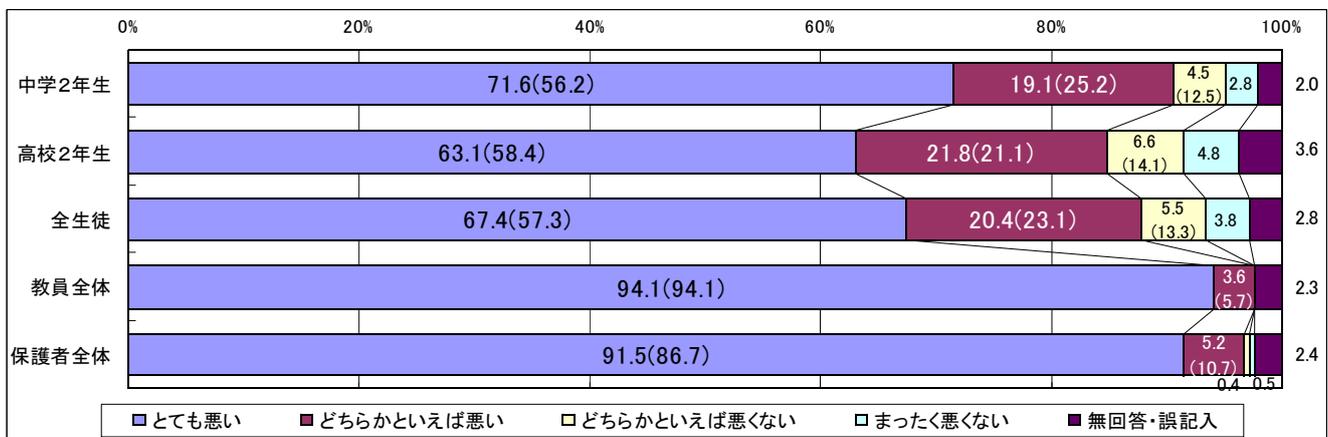
●「悪い」と回答した割合は、小5 93.4%、中2 81.0%、高2 62.1%である。平成14年度と比較すると、全校種、教員、保護者で増加している。(小5 7.3ポイント、中2 25.0ポイント、高2 24.6ポイント、教員 2.4ポイント、保護者 1.0ポイント)

⑩ナイフを持ち歩く



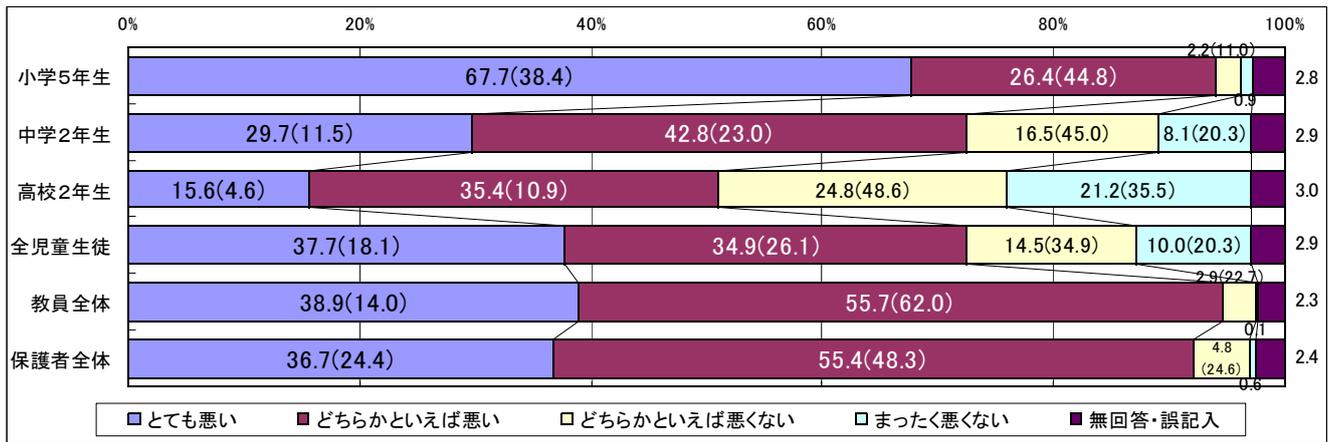
●「悪い」と回答した割合は、小5 97.2%、中2 92.0%、高2 84.5%である。平成14年度と比較すると、中2の回答した割合が増加し(6.8ポイント)、小5・高2、教員、保護者の回答した割合はほぼ同じである。

⑪お金などをもらって異性と交際をする(小学5年生は除く)



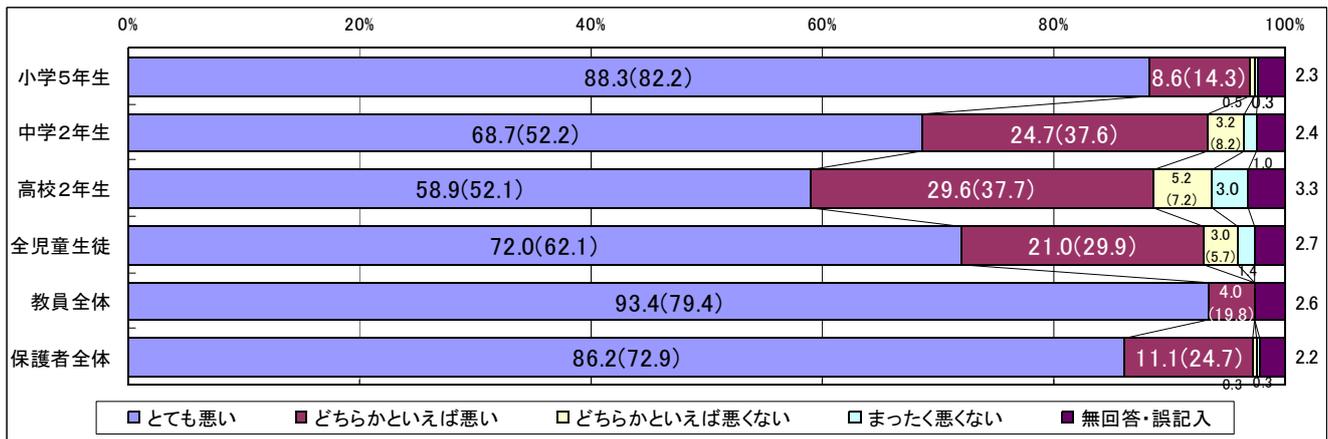
●「悪い」と回答した割合は、中2 90.7%、高2 84.9%である。平成14年度と比較すると、中2・高2で増加し(中2 9.3ポイント、高2 5.4ポイント)、教員・保護者の回答した割合はほぼ同じである。

⑫自転車の二人乗りをする



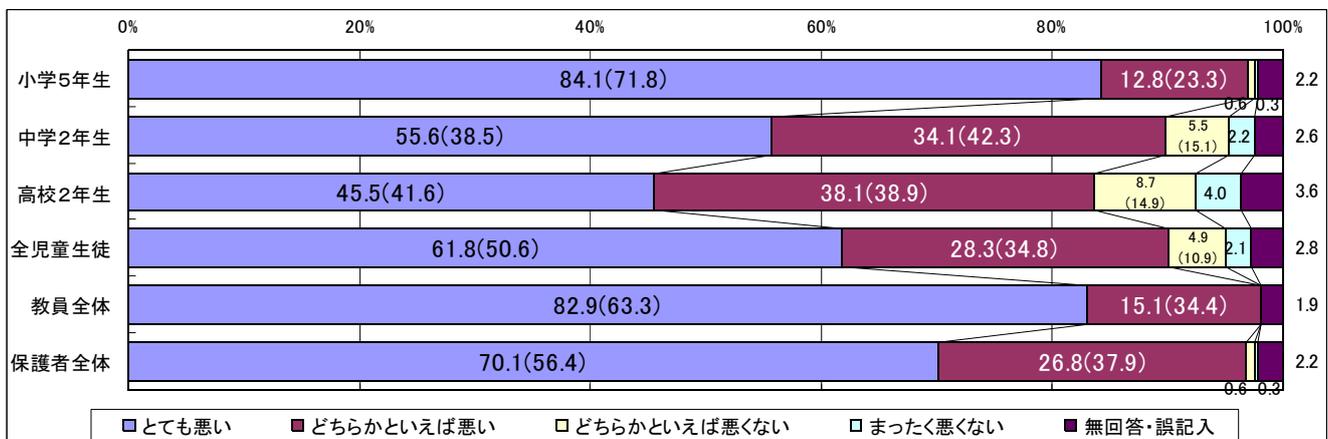
●「悪い」と回答した割合は、小5 94.1%、中2 72.5%、高2 51.0%である。平成14年度と比較すると、全校種、教員、保護者で増加している。(小5 10.9ポイント、中2 38.0ポイント、高2 35.5ポイント、教員 18.6ポイント、保護者 19.4ポイント)

⑬他人の自転車を無断で使用する



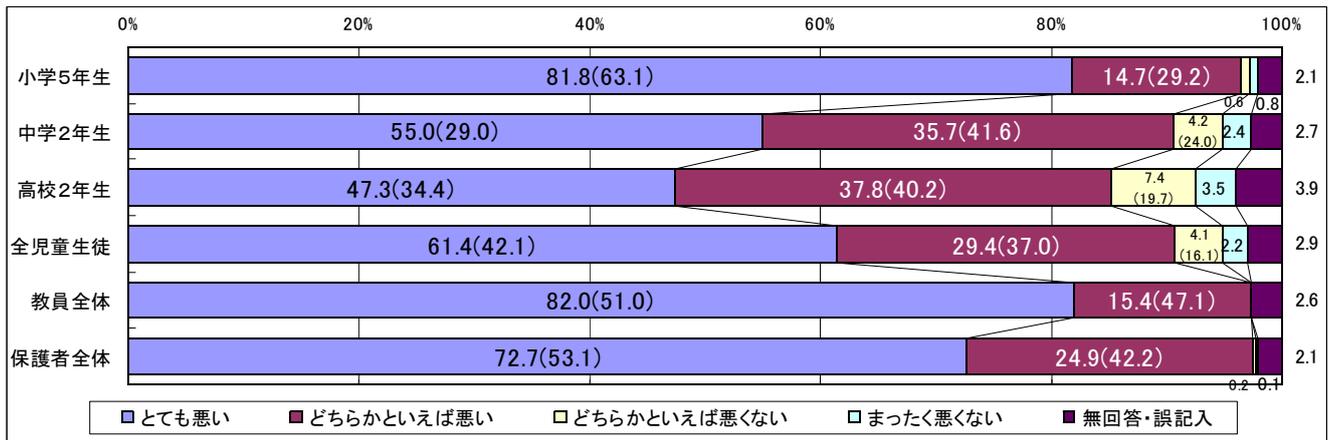
●「悪い」と回答した割合は、小5 96.9%、中2 93.4%、高2 88.5%である。平成14年度と比較すると高2は1.3ポイント減少している。

⑭他人の傘を無断で使う



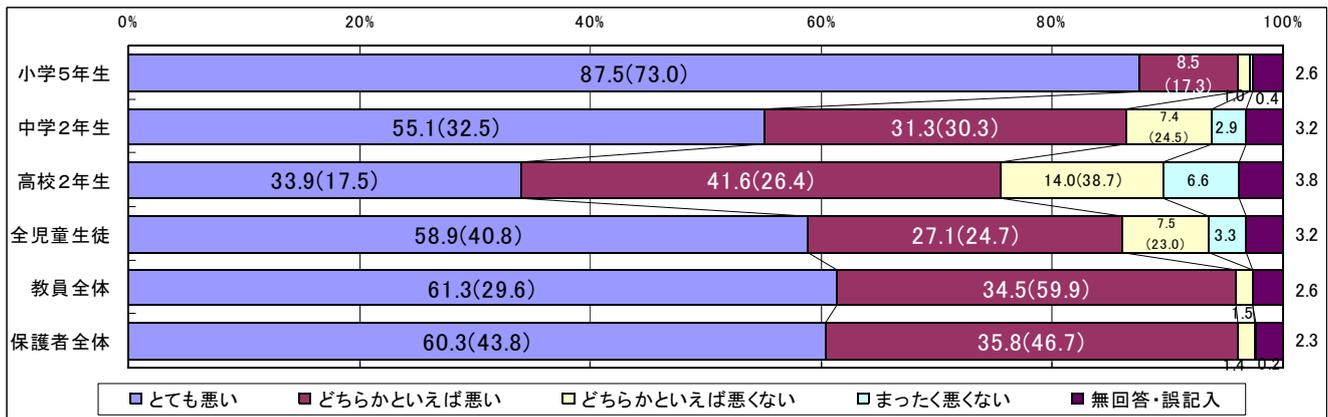
●「悪い」と回答した割合は、小5 96.9%、中2 89.7%、高2 83.6%である。平成14年度と比較すると、中2の増加が目立ち(8.9ポイント)、小5・高2、教員、保護者の回答した割合はほぼ同じである。

⑮ジュースの空き缶等を道路に放置する



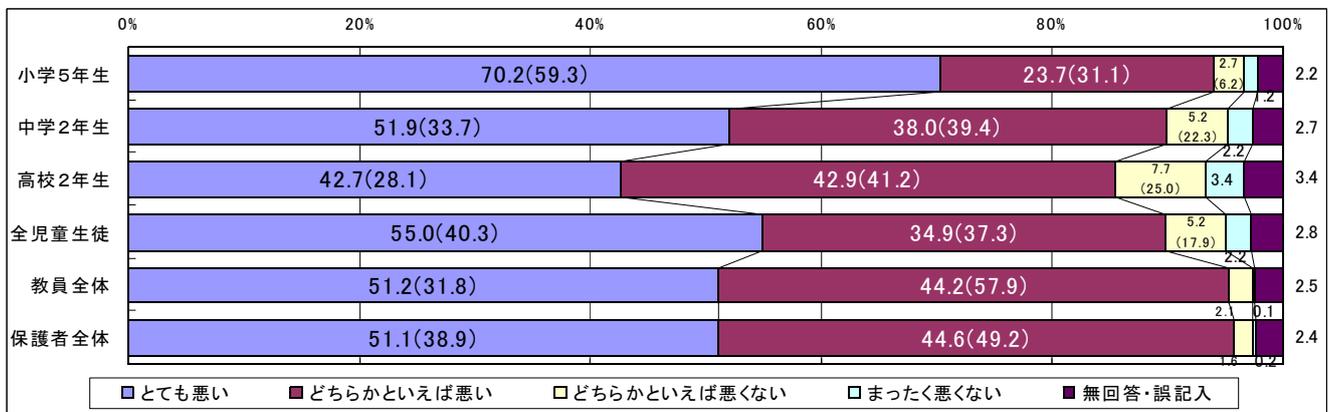
●「悪い」と回答した割合は、小5 96.5%、中2 90.7%、高2 85.1%である。平成14年度と比較すると、全校種、保護者で増加し（小5 4.2ポイント、中2 20.1ポイント、高2 10.5ポイント、保護者 2.3ポイント）、教員の回答した割合はほぼ同じである。

⑯電車の通路や道路にべた座りする



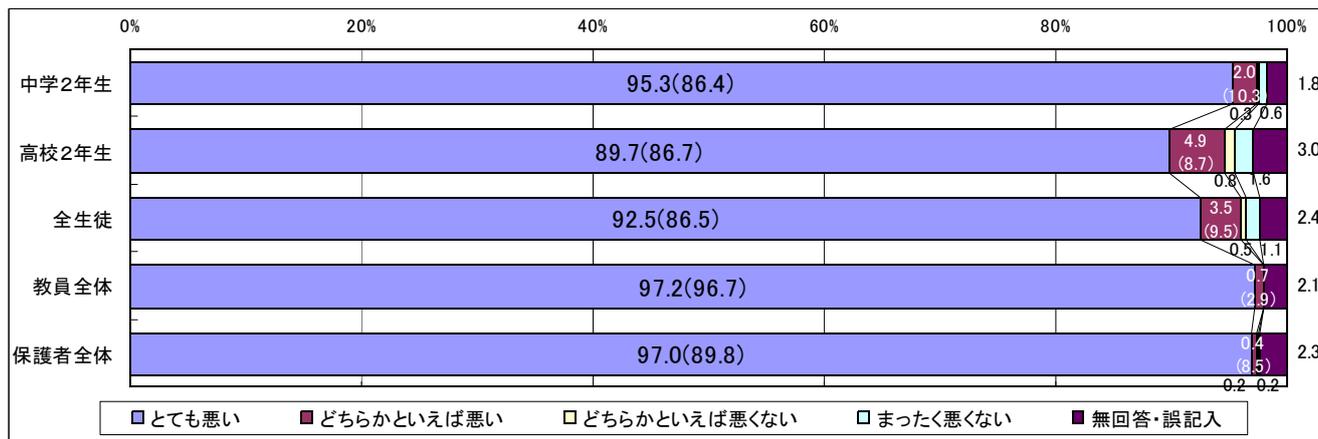
●「悪い」と回答した割合は、小5 96.0%、中2 86.4%、高2 75.5%である。平成14年度と比較すると、全校種、教員、保護者で増加している。（小5 5.7ポイント、中2 23.6ポイント、高2 31.6ポイント、教員 6.3ポイント、保護者 5.6ポイント）

⑰電車やバスでお年寄りに席をゆずらない



●「悪い」と回答した割合は、小5 93.9%、中2 89.9%、高2 85.6%である。平成14年度と比較すると、全校種、教員、保護者で増加している。（小5 3.5ポイント、中2 16.8ポイント、高2 16.3ポイント、教員 5.7ポイント、保護者 7.6ポイント）

⑱薬物（シンナー等）を使用する（小学5年生は除く）

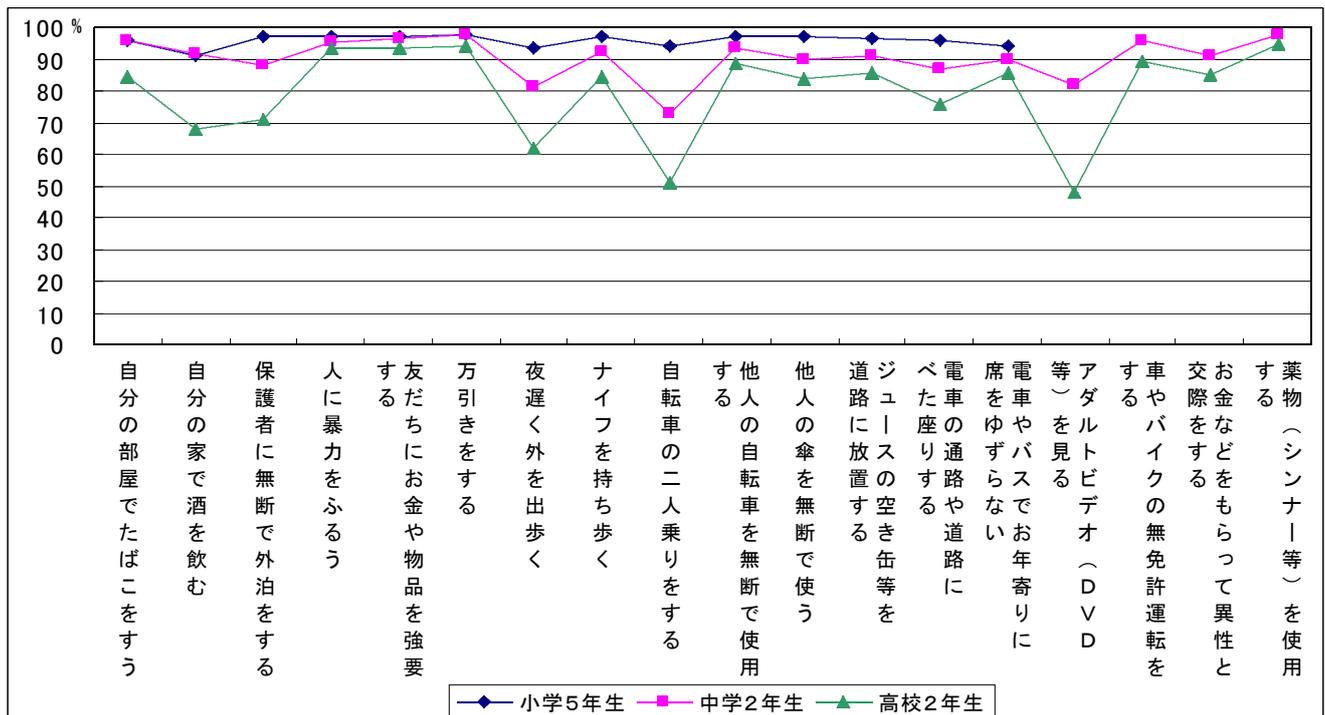


●「悪い」と回答した割合は、中2 97.3%、高2 94.6%である。平成14年度と比較すると、中2・高2、教員、保護者の回答した割合はほぼ同じである。

◇全体的傾向

①校種別

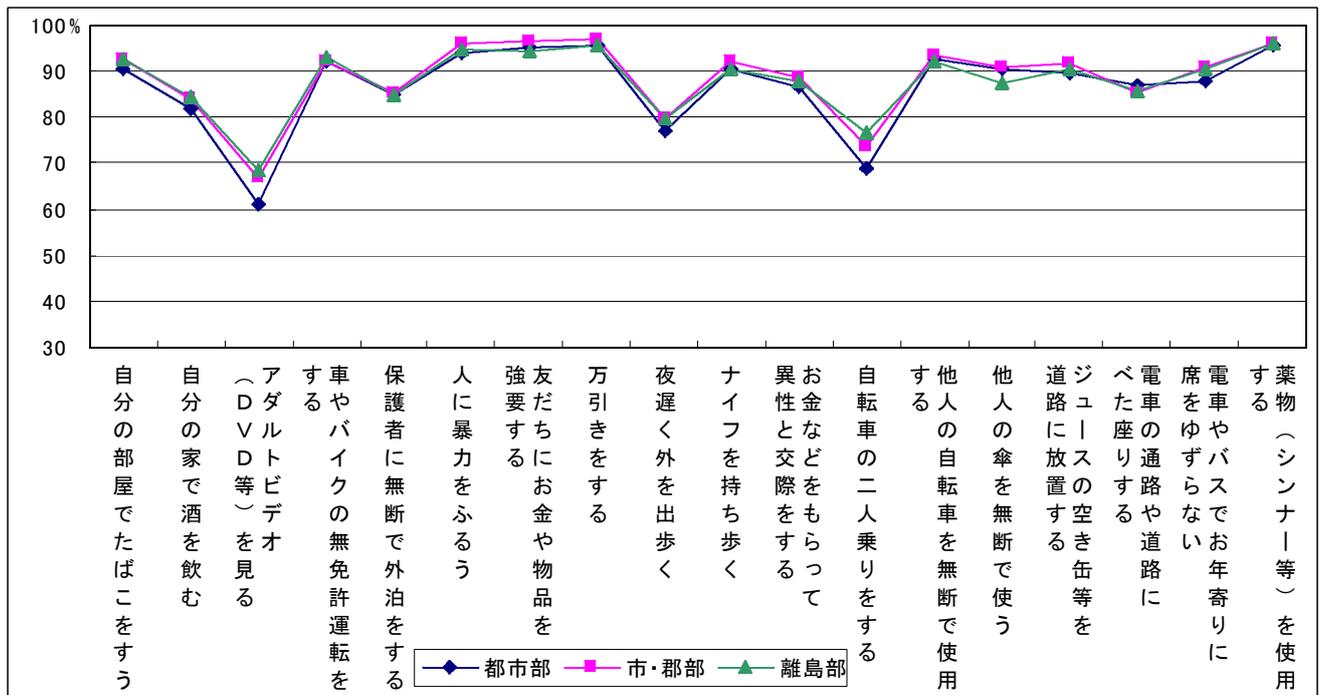
【「悪い」（とても+どちらかといえば）と思う者の割合】



- 「悪い」と回答した割合は、ほとんどの項目で学年が上がるほど低くなる。「暴力」「お金や物品の強要」「万引き」など、他人に直接的に重大な害を及ぼす行為については、すべての校種で「悪い」と回答した割合が高い。これは、平成14年度と同様の傾向である。
- 平成14年度と比較すると、全体的に規範意識が向上している。ただし、「アダルトビデオ（DVD等）を見る」・「夜遅く外を出歩く」・「自転車の二人乗りをする」の3項目については、規範意識の向上・改善が望まれる。

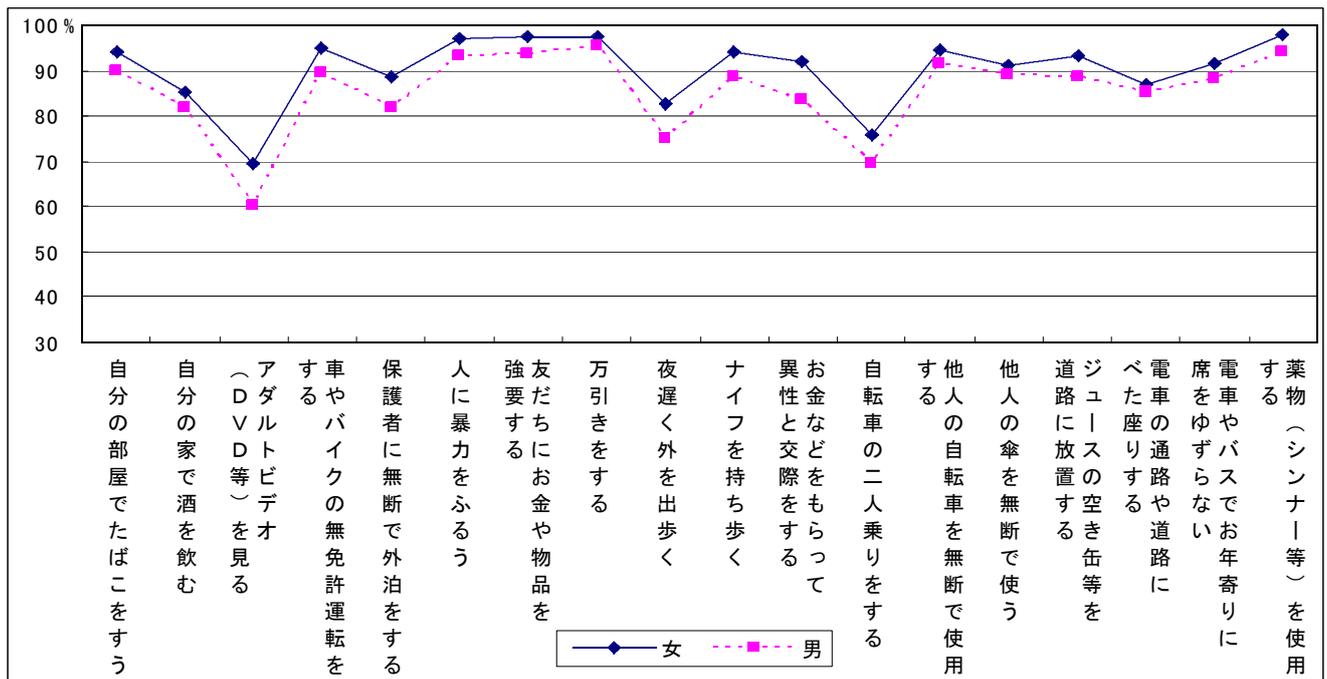
②地区別（全児童生徒）

【「悪い」（とても+どちらかといえば）と思う者の割合】



- 地区間での差異は見られない。これは平成14年度と同様である。

③男女別（全児童生徒） 【「悪い」（とても+どちらかといえ）と思う者の割合】

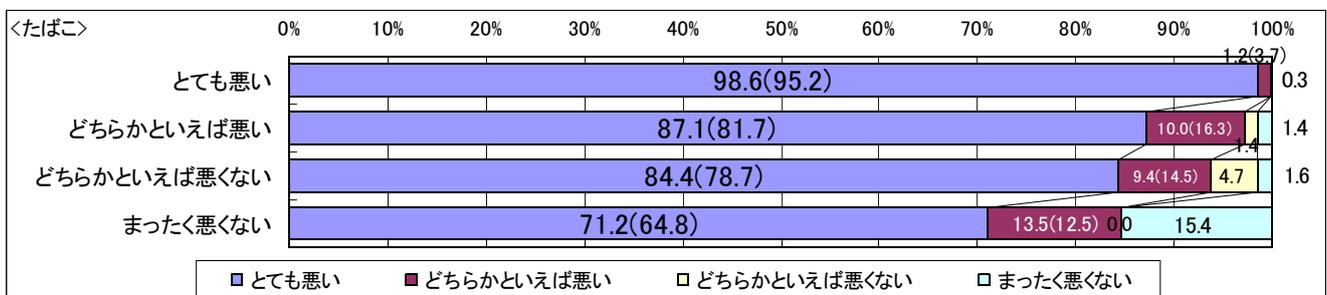


●「悪い」と回答した割合は、すべての項目で女子が男子よりも高い。これは平成14年度と同じである。

◇「自分の部屋でたばこをすう」・「自分の部屋で酒を飲む」と「薬物（シンナー等）を使用する」との関係（中学2年生+高校2年生）【クロス集計】

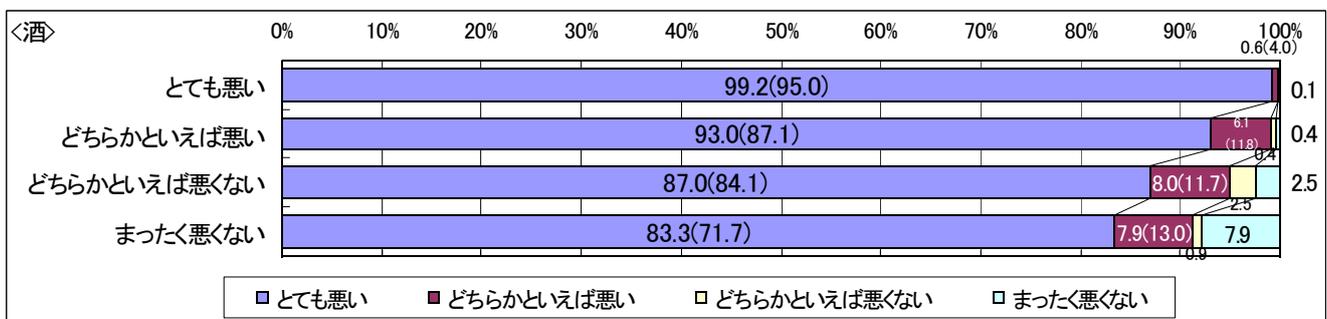
①たばこと薬物

〈薬物〉



②酒と薬物

〈薬物〉

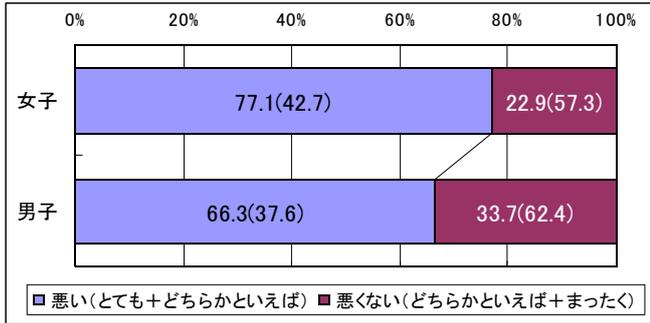


●たばこや酒を「まったく悪くない」と回答した者で、薬物を「どちらかといえば悪くない」+「まったく悪くない」と答えた者がいる。（たばこ 15.4%，酒 8.8%）平成14年度の分析結果でも指摘しているが、「たばこ」や「酒」に対して「とても悪い」という意識の啓発をよりいっそう進めていくことが薬物乱用防止の指導にもつながると考えられる。

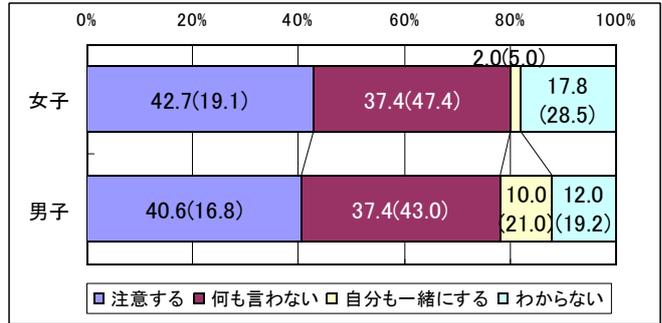
◇「アダルトビデオ（DVD等）を見る」の男女別・地区別関係（中学2年生+高校2年生）【クロス集計】

①男女別

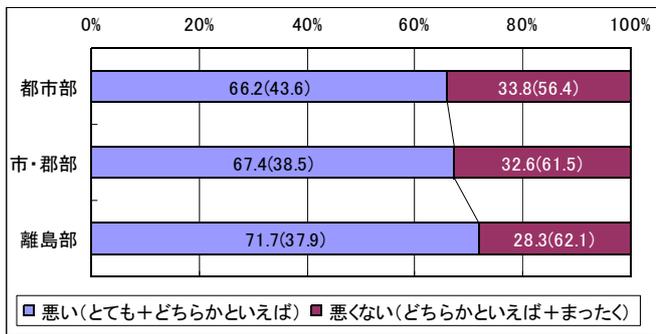
【「悪い」と「悪くない」の割合】



【対応の仕方】



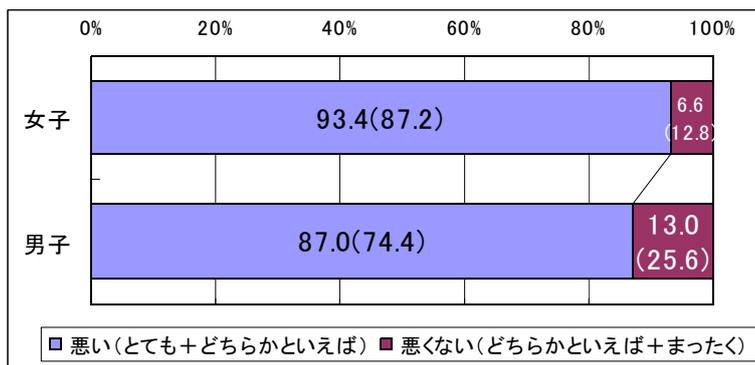
②地区別【「悪い」と「悪くない」の割合】



- 平成14年度と比較すると、「悪い」と回答した割合は女子が34.4ポイント、男子が28.7ポイント高くなっている。対応の仕方では「注意する」と回答した割合は女子が23.6ポイント、男子が23.8ポイント高くなっている。地区別では、都市部が22.6ポイント、市・郡部が28.9ポイント、離島部が33.8ポイントとそれぞれ高くなっている。

◇「お金などをもらって異性と交際をする」の男女別関係（中学2年生+高校2年生）【クロス集計】

【「悪い」と「悪くない」の割合】



○女子 786人 男子 718人

- 「悪い」と回答した割合は女子が男子より6.4ポイント高く、この傾向は平成14年度と同じである。平成14年度と比較すると、女子が6.2ポイント、男子が12.6ポイント高くなっている。

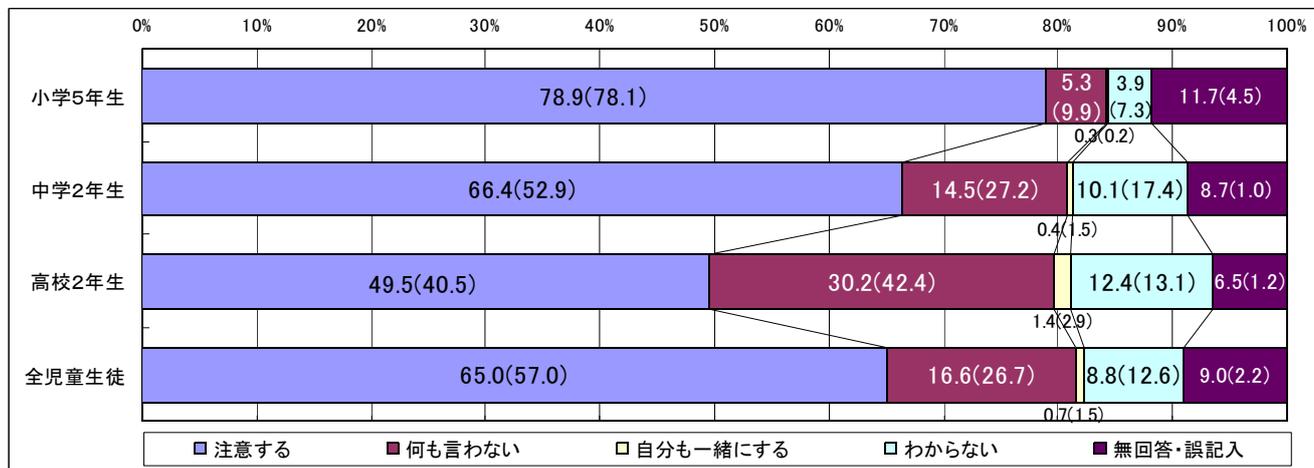
3 (2) 友だちの行為に対する対応の仕方【小学5年生…問3 1】【中学2年生…問3 3】【高校2年生…問3 4】

次の行動を見てあなたはどうしますか。それぞれ一つ選んで番号を教えてください。

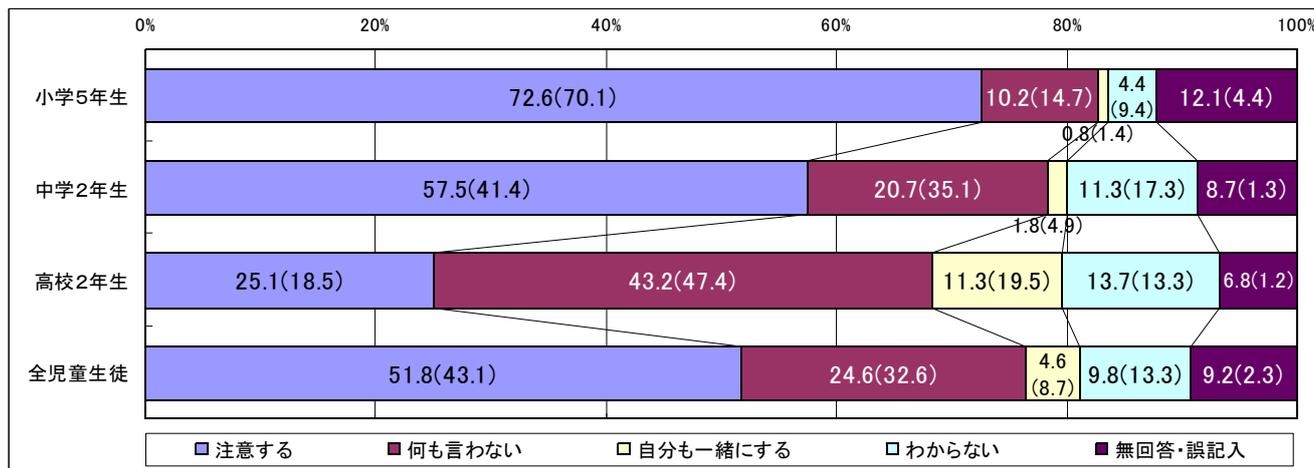
- (1) 注意する (2) 何も言わない (3) 自分も一緒にする (4) わからない

※以下の①～⑱の調査結果については、P. 82～P. 83に「全体的傾向」等の分析を記載した。

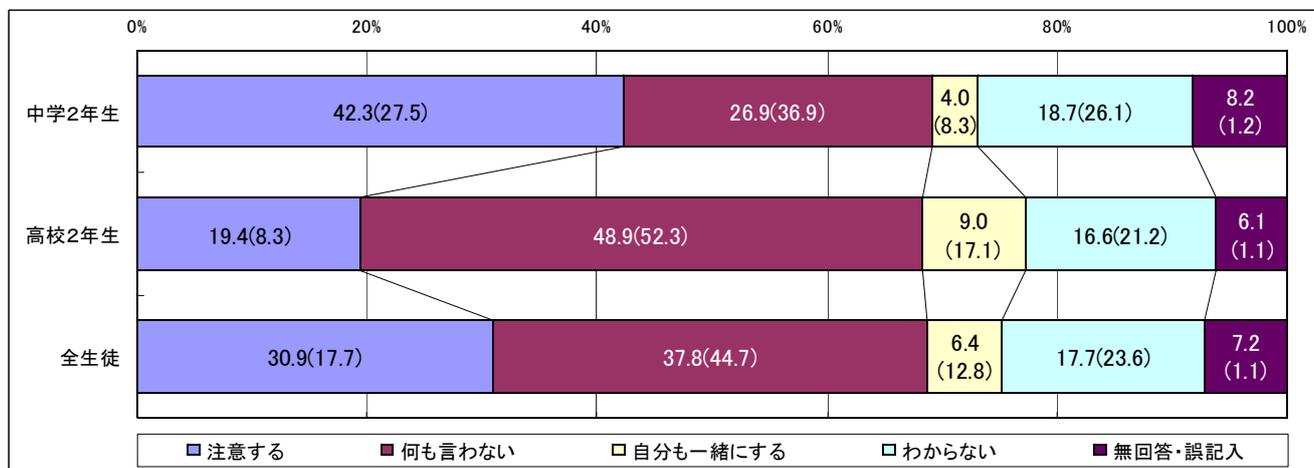
①自分の部屋でたばこをすう



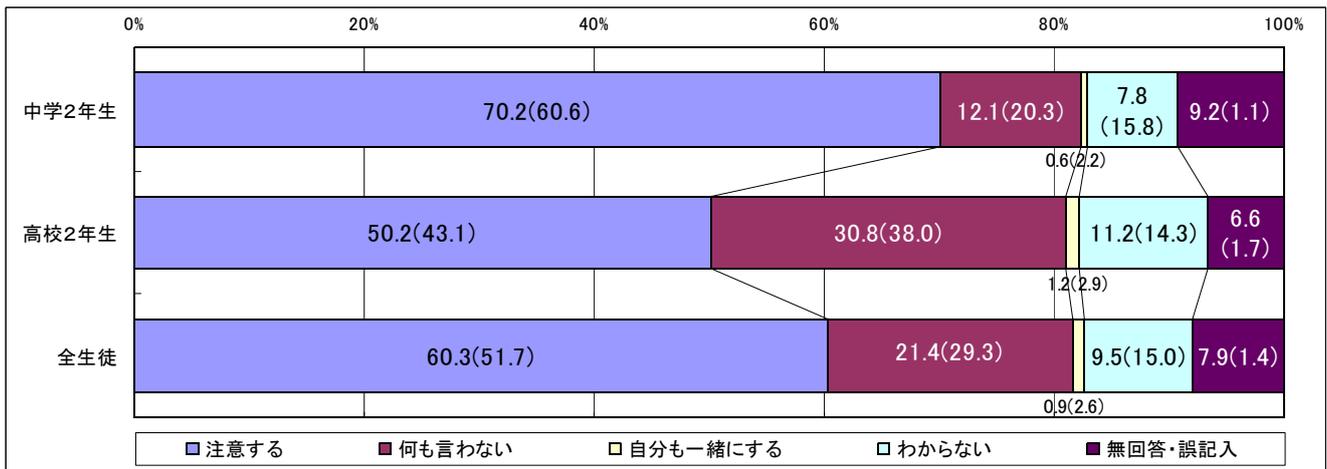
②自分の家で酒を飲む



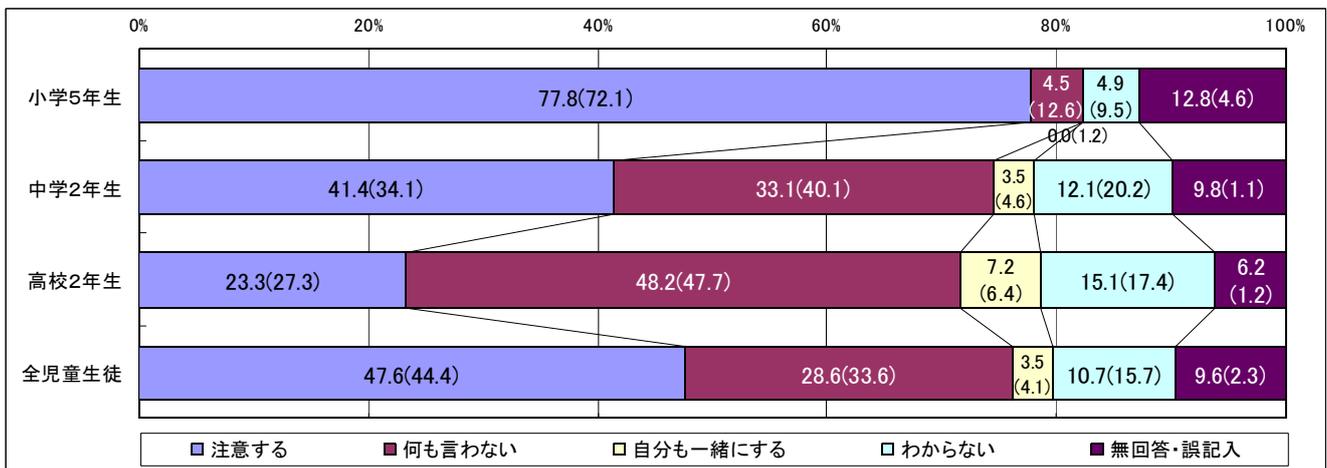
③アダルトビデオ（DVD等）を見る（小学5年生は除く）



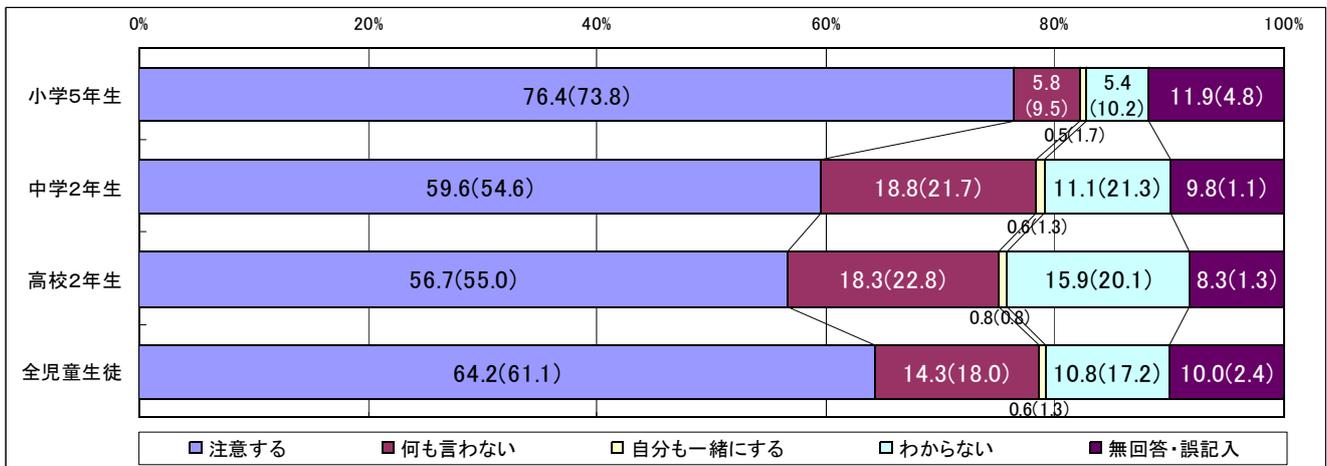
④車やバイクの無免許運転をする（小学5年生は除く）



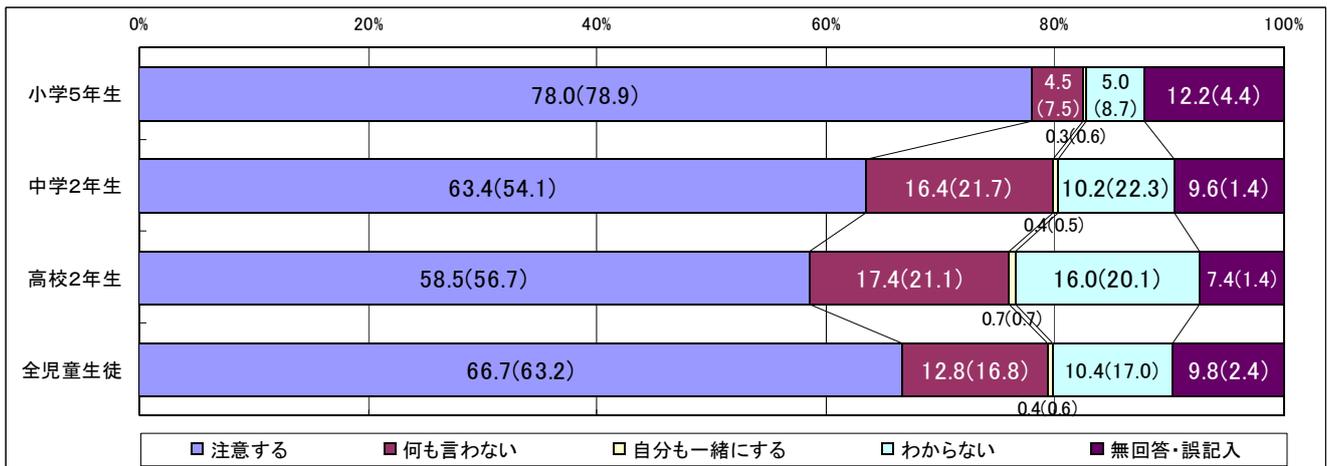
⑤保護者に無断で外泊する



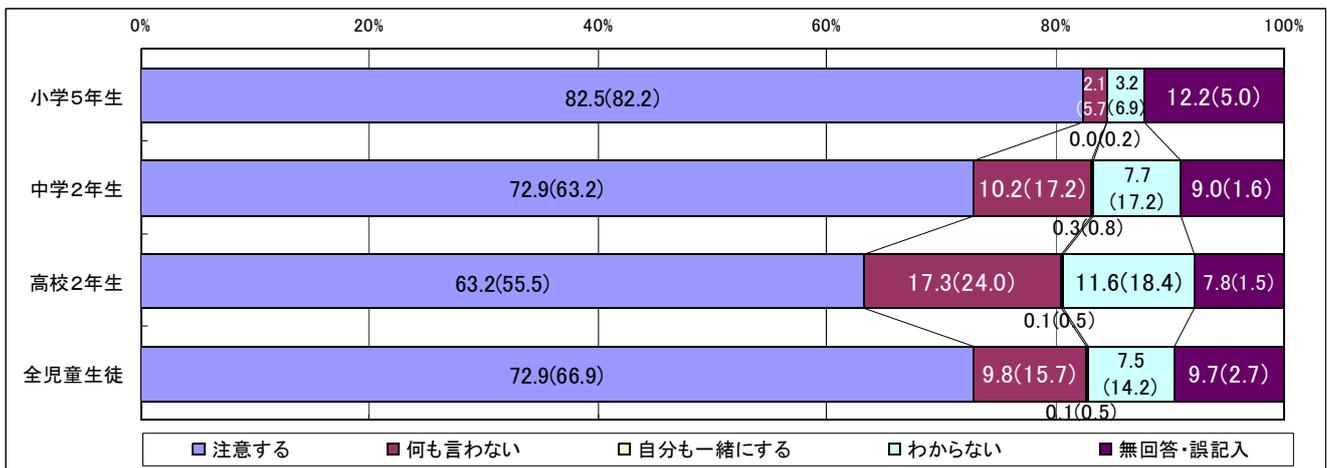
⑥人に暴力をふるう



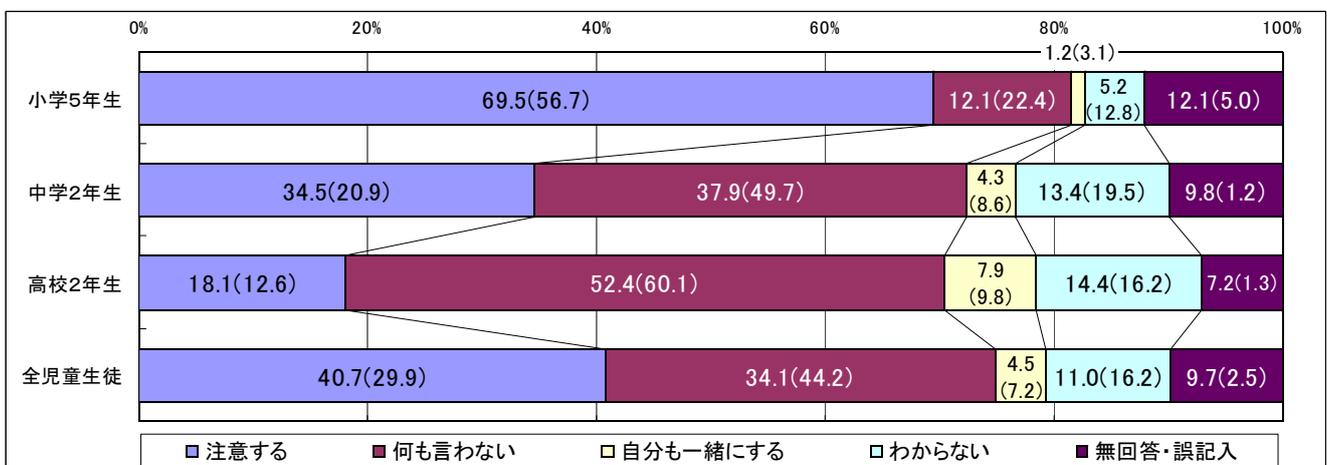
⑦ 友だちにお金や物品を強要する



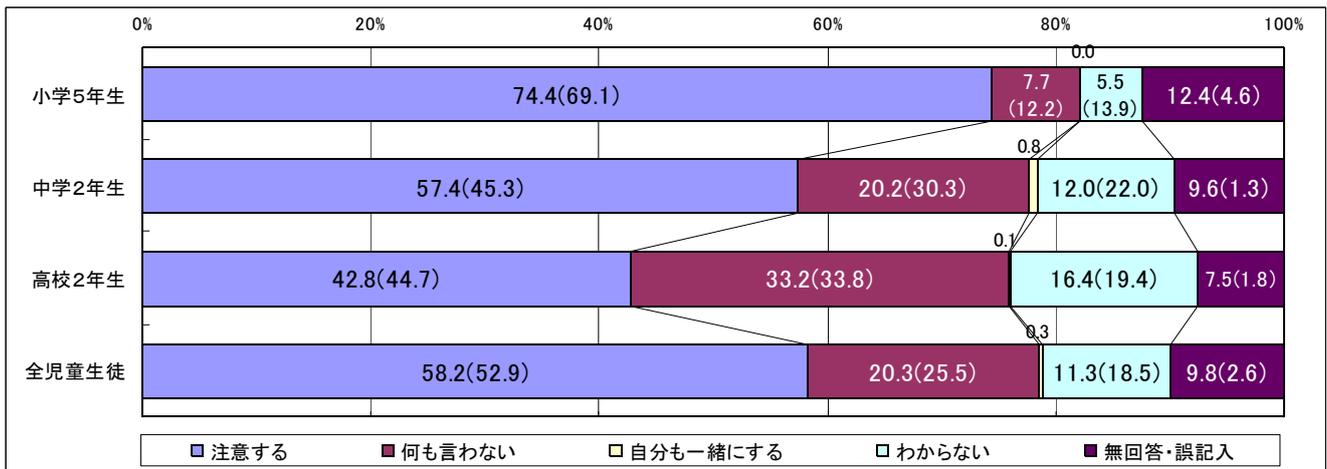
⑧ 万引きをする



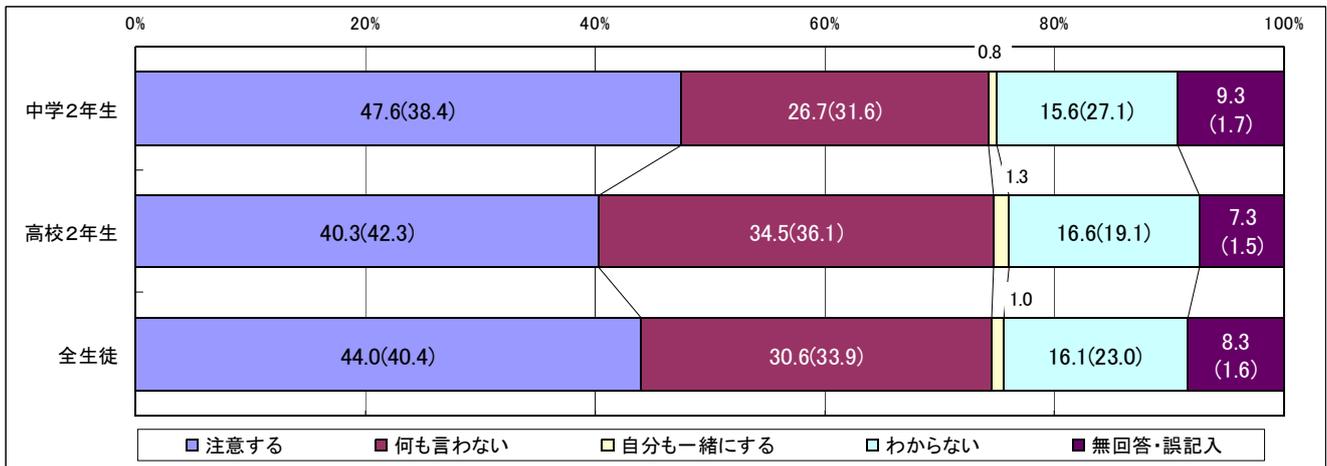
⑨ 夜遅く外を出歩く



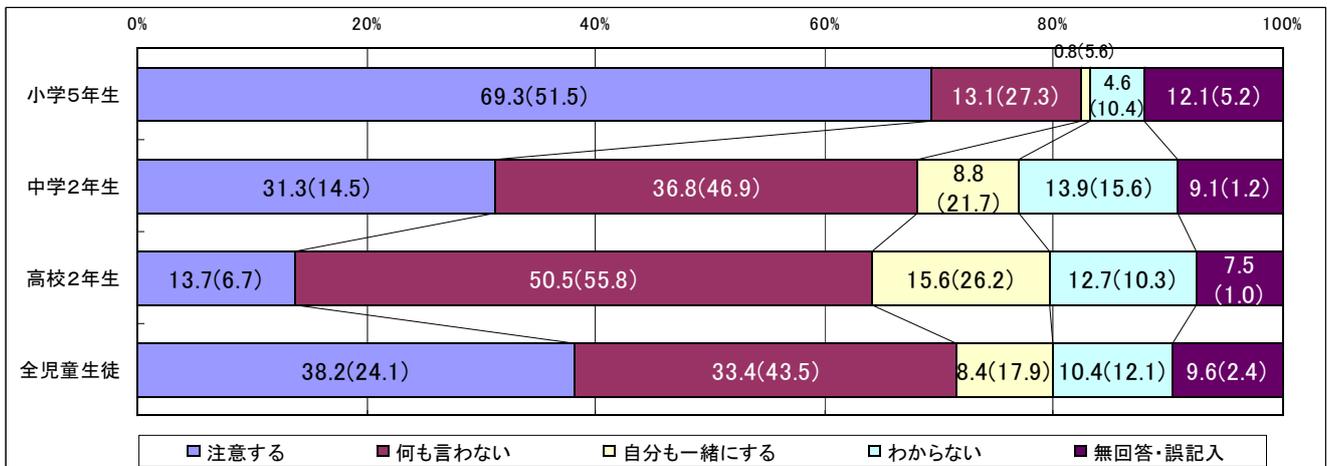
⑩ナイフを持ち歩く



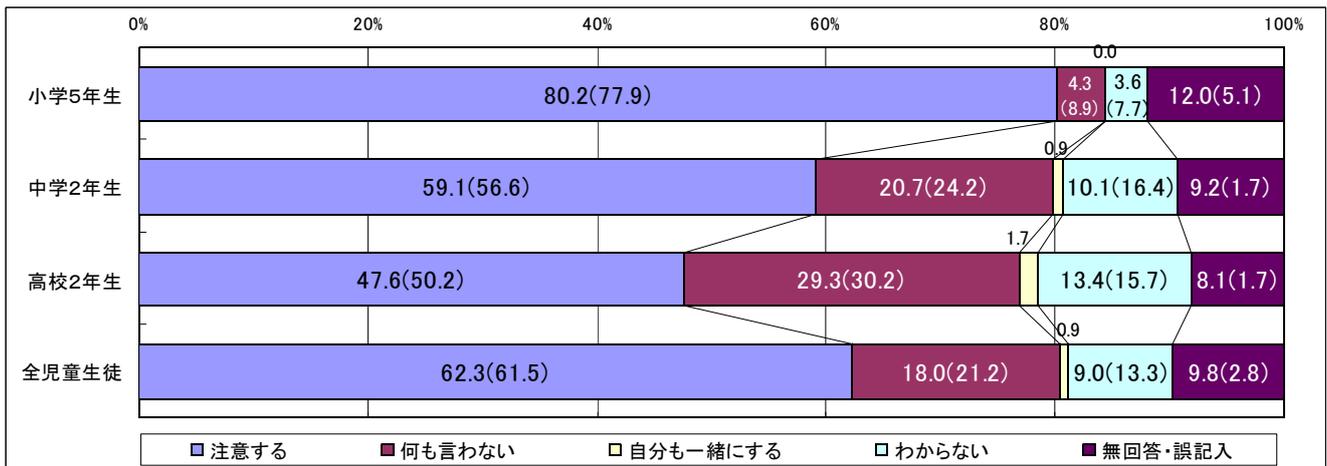
⑪お金などをもらって異性と交際をする（小学5年生は除く）



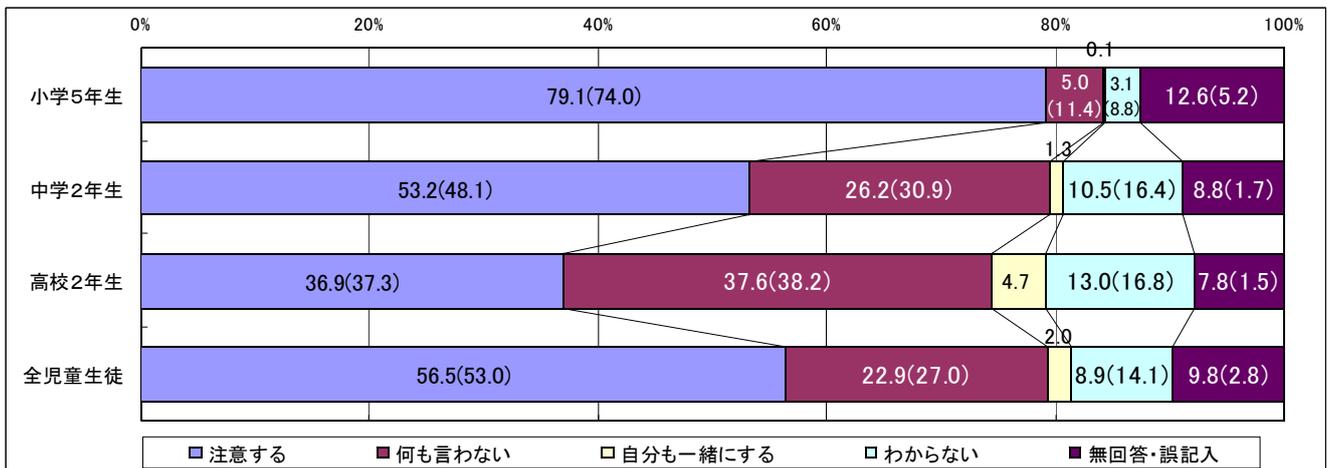
⑫自転車の二人乗りをする



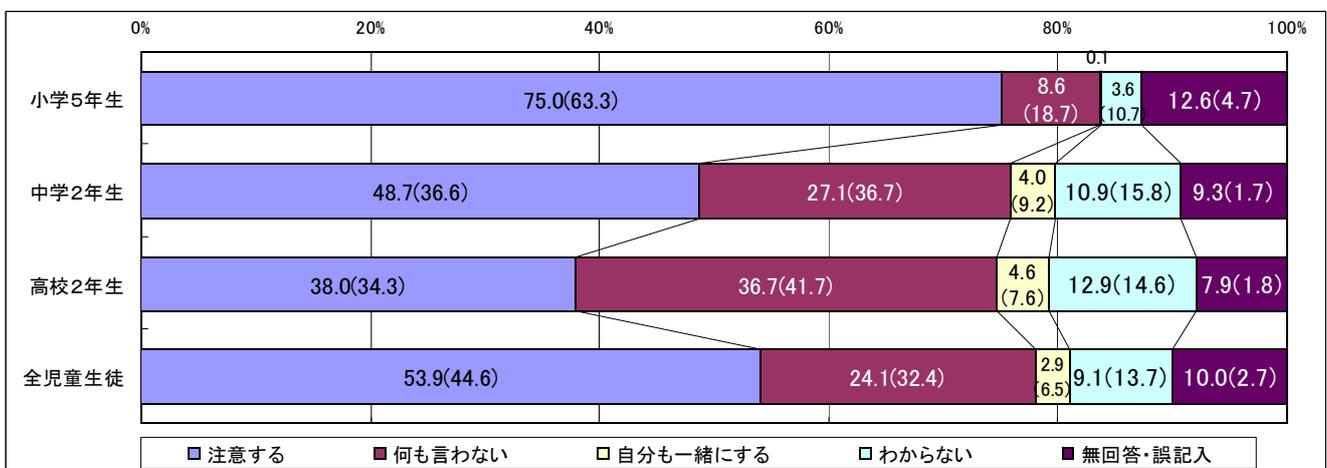
⑬他人の自転車を無断で使用する



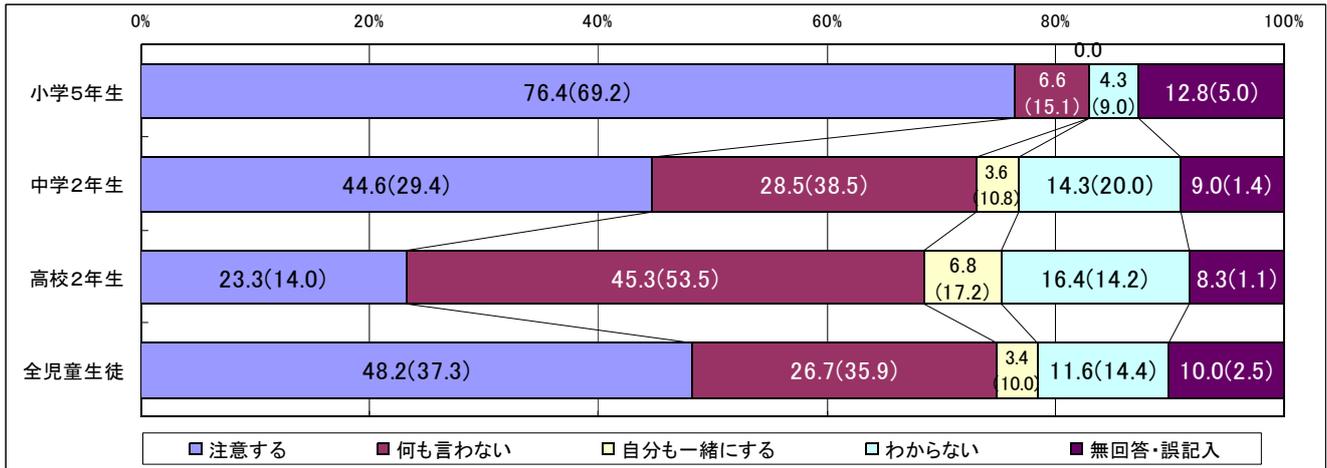
⑭他人の傘を無断で使う



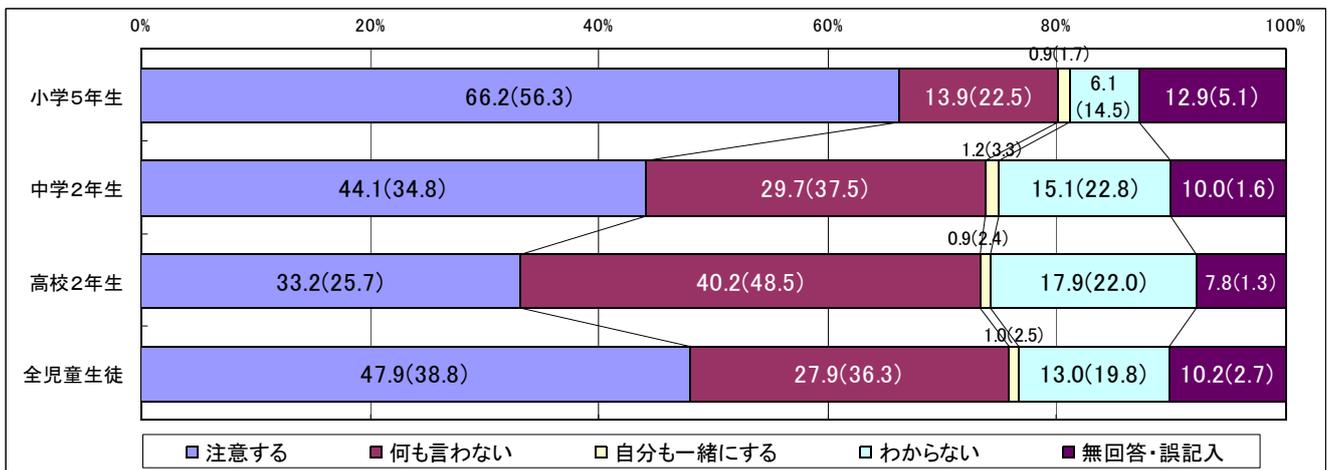
⑮ジュースの空き缶等を道路に放置する



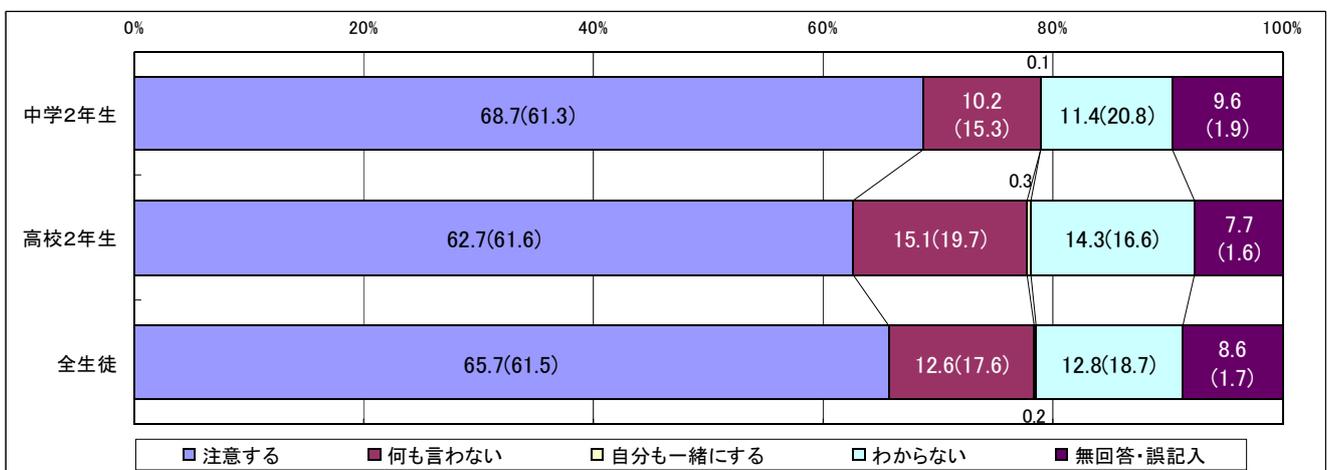
⑩電車の通路や道路にべた座りする



⑪電車やバスでお年寄りに席をゆずらない

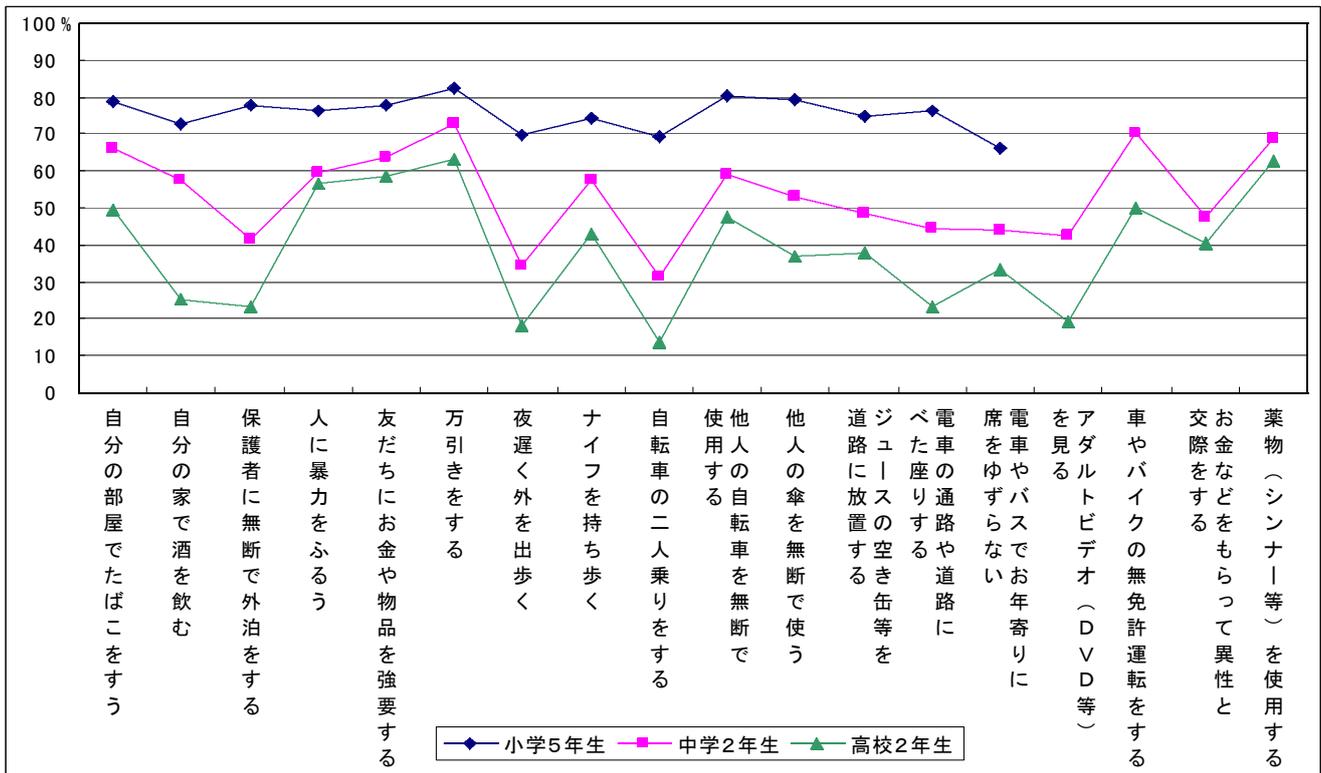


⑫薬物（シンナー等）を使用する（小学5年生は除く）

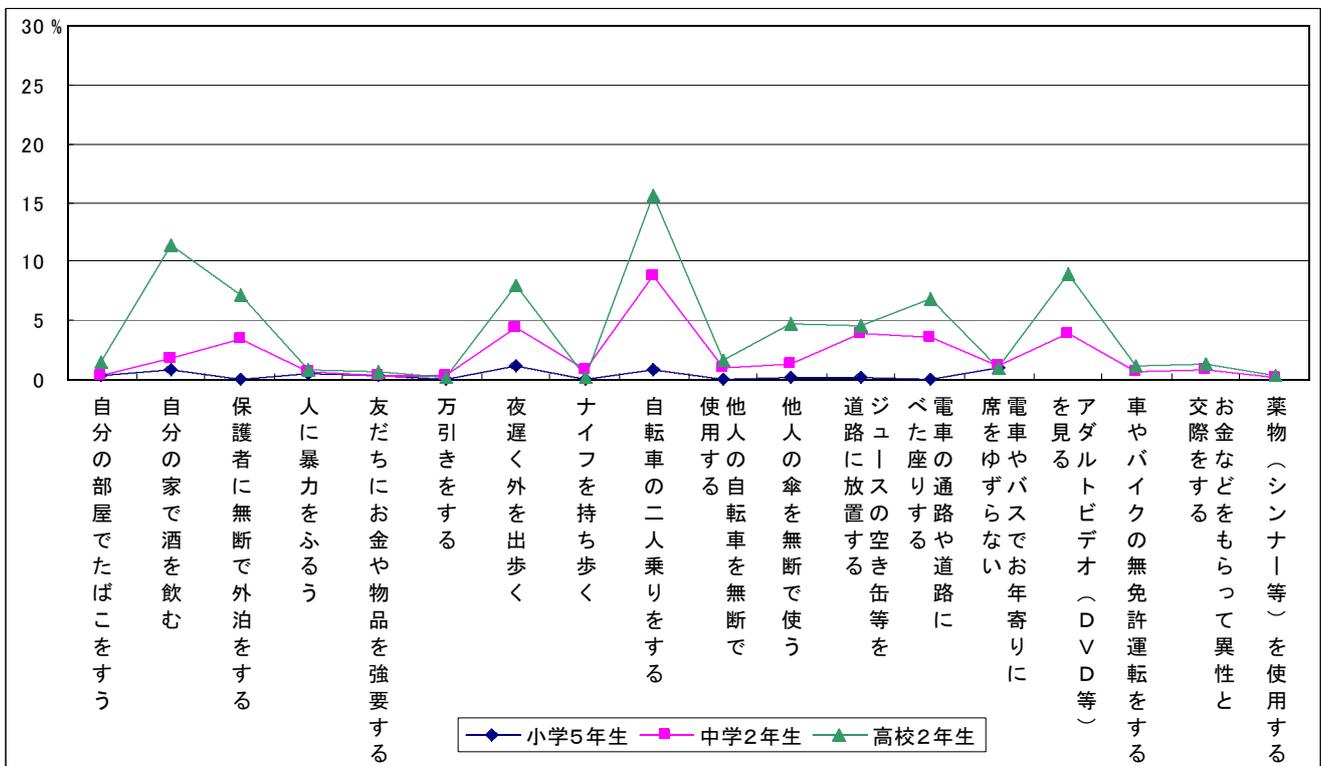


◇全体的傾向

①「注意する」の割合



②「自分も一緒にする」の割合



●「注意する」よりも「一緒にする」と回答した割合が高いのは、高2の「自転車の二人乗りをする」(「注意する」13.7%、「一緒にする」15.6%)である。平成14年度は中2の「自転車の2人乗りをする」、高2の「自分の家で酒を飲む」「自転車の2人乗りをする」「アダルトビデオを見る」「電車の通路にべた座りする」であった。

「注意する」の割合が高い項目の比較

	平成14年度			平成19年度		
	1	2	3	1	2	3
小学5年生	万引きをする (82.2%)	友だちにお金や品物を強要する (78.9%)	自分の部屋でたばこをすう (78.1%)	万引きをする (82.5%)	他人の自転車を無断で使用する (80.2%)	他人の傘を無断で使う (79.1%)
中学2年生	万引きをする (63.2%)	薬物を使用する (61.3%)	車やバイクの運転をする (60.6%)	万引きをする (72.9%)	車やバイクの運転をする (70.2%)	薬物を使用する (68.7%)
高校2年生	薬物を使用する (61.6%)	友だちにお金や品物を強要する (56.7%)	万引きをする (55.5%)	万引きをする (63.2%)	薬物を使用する (62.7%)	友だちにお金や品物を強要する (58.5%)

- 全校種で「万引き」を注意すると回答した割合が最も高い。割合の高い3項目を平成14年度と比較すると、中2で注意すると回答した割合が高くなっている。[「万引き」(9.7ポイント)「車やバイクの運転」(9.6ポイント)「薬物」(7.4ポイント)]

「自分も一緒にする」の割合が高い項目の比較

	平成14年度			平成19年度		
	1	2	3	1	2	3
小学5年生	自転車の二人乗りをする (5.6%)	夜遅く外を出歩く (3.1%)	ジュースの空き缶等を道路に放置する (2.7%)	夜遅く外を出歩く (1.2%)	電車やバスでお年寄りに席を譲らない (0.9%)	自転車の二人乗りをする 自分の家で酒を飲む (0.8%)
中学2年生	自転車の二人乗りをする (21.7%)	電車の通路や道路にべた座りをする (10.8%)	ジュースの空き缶等を道路に放置する (9.2%)	自転車の二人乗りをする (8.8%)	夜遅く外を出歩く (4.3%)	アダルトビデオ(DVD等)を見る ジュースの空き缶等を道路に放置する (4.0%)
高校2年生	自転車の二人乗りをする (26.2%)	自分の家で酒を飲む (19.5%)	電車の通路や道路にべた座りをする (17.2%)	自転車の二人乗りをする (15.6%)	自分の家で酒を飲む (11.3%)	アダルトビデオ(DVD等)を見る (9.0%)

- 平成14年度と比較すると、どの学年も自分も一緒にすると回答した割合が低くなっている。特に中・高に顕著な変化が見られる。年齢が低いほど「自分も一緒にする」と回答した割合が低くなるのは平成14年度と同様の傾向である。